

令和3年度

予算の概要



「点 点 点 点」古城俊明

ART BRUT

～生の芸術 アール・ブリュット～

フランスの画家ジャン・デュビュッフェにより生み出された概念で、「正規の美術教育を受けていない人による生(き)の芸術」を意味します

令和3(2021)年3月
岩 見 沢 市

目次

I. 重点分野の取組み 総合戦略関連予算	1~19 20
II. 予算のポイント	
1. 予算規模	21
2. 一般会計予算の概要	22
3. 性質別予算一覧	23
4. 扶助費・建設費	24
5. 市債の状況	25
6. 基金の状況	26
7. 各種財政指標	27
III. 主要・新規の事務事業	28~50
(参考)新型コロナウイルス感染症対策経費	51
(参考)令和3年第1回定例会補正予算の概要	52

注：この資料中の金額は、原則として各計数ごとの四捨五入で表示しています。したがって、文中及び各表中の数値・比率とその内訳の累計値とは単位の相違等により一致しない場合があります。

表紙の作品は社会福祉法人クピド・フェアの
古城俊明さんが製作したものです。

人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市

令和3年度予算 重点分野の取組み

市民生活の質の向上

地域経済の活性化

防災・防犯・地域コミュニティ
1 地域で支え合う 安全・安心なまち

健康・福祉・医療
2 みんなが健康で元気に暮らせるまち

産業経済・交流
3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち

子ども・子育て・教育・文化
4 豊かな心と生きる力をはぐくむまち

都市基盤・環境
5 自然と調和した快適で暮らしやすいまち

市民参画・行財政運営
6 市民とともに創る持続可能で自立したまち



岩見沢市

令和3年度は、「地方創生」に向けて今年度からスタートした「第2期総合戦略」の着実な推進と、「第6期総合計画」に掲げる将来の都市像である「人と緑とまちが つながり」とともに育み未来をつくる「健康経営都市」の実現に向け、短期的な課題への対応と中長期的視点を併せ持った市政運営のレベルアップを図ります。

第2期岩見沢市総合戦略

令和2年度から令和6年度までを期間として、人口が減少する中でも成長可能なスマートシティの構築を目指して各分野の具体的な取組みについて、横断的に定めています。

第6期岩見沢市総合計画

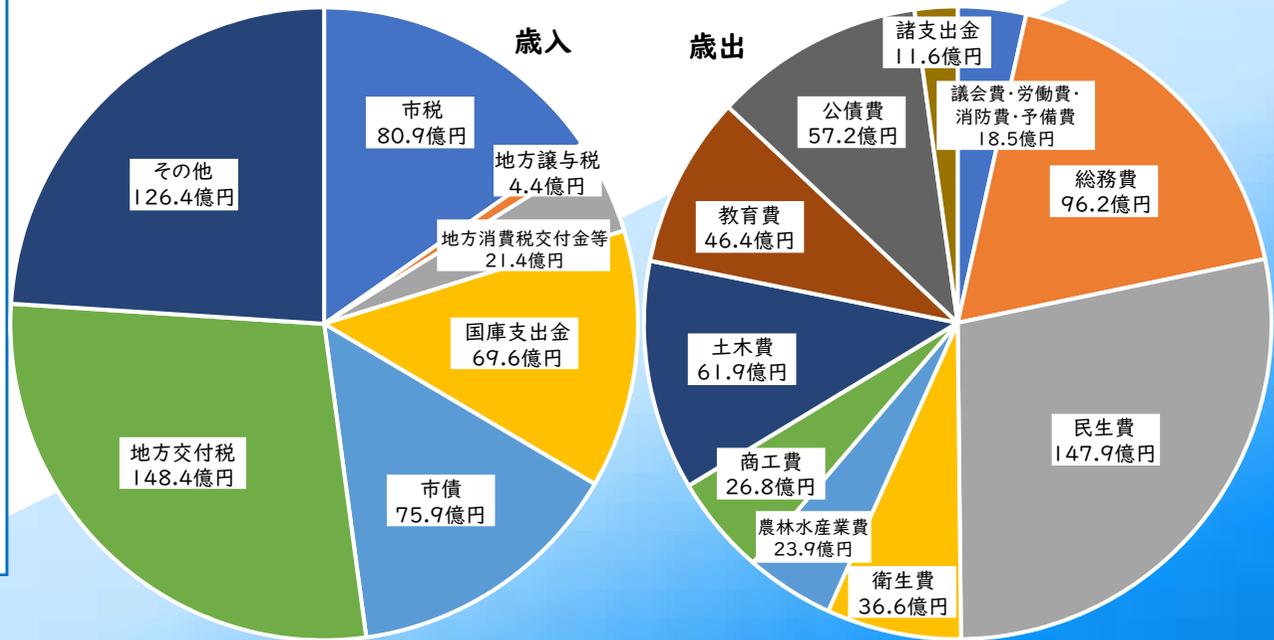
平成30年度から令和9年度までを計画期間として、将来の都市像を掲げた、まちづくりの羅針盤となる計画。重点分野に掲げた施策をはじめ、全ての市の事業は、総合計画に掲げた6つの基本目標に区分されています。



SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」には17のゴール(目標)と169のターゲット(取組・手段)から構成され、国際社会全体の普遍的な目標とされています。

また、国の指針ではSDGsの浸透や主流化を図ることとされており、「本年度の重点資料」には、どの目標の達成に寄与するか」という要素を取り入れています。

一般会計予算 歳入・歳出の状況



令和3年度 予算規模 **527億円** 前年比 5.4%増



	ゴール(目標)	指標仮訳		ゴール(目標)	指標仮訳
	1. 貧困をなくそう	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ		10. 人や国の不平等をなくそう	国内および国家間の格差を是正する
	2. 飢餓をゼロに	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する		11. 住み続けられるまちづくりを	都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする
	3. すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する		12. つくる責任 つかう責任	持続可能な消費と生産のパターンを確保する
	4. 質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		13. 気候変動に具体的な対策を	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
	5. ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る		14. 海の豊かさを守ろう	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
	6. 安全な水とトイレを世界中に	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する		15. 陸の豊かさを守ろう	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する		16. 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
	8. 働きがいも経済成長も	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する		17. パートナリシップで目標を達成しよう	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る			

令和3年度第2期岩見沢市総合戦略関連予算

総合戦略関連予算 27事業 6億2,666万円 (ハード事業を除いたソフト分 6億2,436万円)

基本方針

誰もが活躍できる地域社会の実現と個々の生産性の向上により成長を続ける「スマートシティ」

「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」に向けて、「第2期岩見沢市総合戦略」の着実な推進を図ります。

【注】※は1つの事務事業が複数分野に関連している事業

基本目標

1 安定した雇用を創出するとともに、
経済を支える人材を育て活かす 1億5,248万円

◆ICT農業普及促進事業	250万円
◆地域産業協働促進事業	250万円
◆創業支援事業	1,250万円
◆中心市街地活性化対策事業※(うち魅力ある店舗づくり支援事業)	750万円
◆プレミアム付建設券発行支援事業	6,500万円
◆新産業創出促進事業※(うち地域経済牽引企業促進事業)	1,027万円
◆新規就農・農業後継者育成支援事業	2,573万円
◆ICT活用型総合戦略推進事業※(うち人材の育成と活躍推進事業)	2,000万円
◆職業能力向上事業(うち技能者人材確保・育成支援事業)	648万円

2 新しい「ひとの流れ」をつくる 7,265万円

◆教育大学連携事業	350万円
◆中心市街地活性化対策事業※(うちまちなか活性化事業)	1,496万円
◆観光振興戦略推進事業	924万円
◆ふるさと毛陽地域振興事業	230万円
◆社会教育施設整備事業(うち旧美流渡中学校校舎利活用事業)	300万円
◆移住定住促進事業	3,804万円
◆シティプロモーション推進事業	161万円

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる、
誰もが活躍できる地域社会をつくる 2億3,622万円

◆子育て総合支援センター事業	1,941万円
◆あそびの広場運営事業	3,421万円
◆子どもの医療助成事業	1億580万円
◆教育支援センター事業	1,912万円
◆保育所入所運営事業	1,347万円
◆保育・教育人材確保事業	300万円
◆子ども・子育て支援事業(うちファミリー・サポート・センター事業)	329万円
◆共生のまちづくり推進事業	3,792万円

4 安心して暮らすことができる地域を
つくとともに、新しい時代の流れを力にする 1億6,531万円

◆健康経営都市推進事業	2,035万円
◆高齢者・障がい者の冬のくらし支援事業	4,103万円
◆防災対策事業	3,193万円
◆ICT活用型総合戦略推進事業※(うち高度情報通信基盤整備事業等)	4,500万円
◆スマート・デジタル自治体推進事業	2,000万円
◆新産業創出促進事業※(うち地域イノベーション推進事業)	700万円

1. 地域で支え合う安全・安心なまち

予算のポイント

令和3年度予算のポイント

防災対策事業 **地域防災力の向上**
災害等に備えた対策等



総務部防災対策室

自助・共助の防災力を高めることを目的とした地域活動に対する支援のほか、食料品や資機材、ペットの避難等に係る備蓄品を計画的に整備し、いつ発生するかわからない災害に備えます。

除排雪事業、高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業 **総合的な雪対策の推進**
冬の暮らしの安全・安心の確保



健康福祉部高齢介護課
建設部土木課

全庁体制で「総合的な雪対策」に取り組んでおり、道路除排雪に加え、福祉施策とも連携して、豪雪パトロールや情報提供、町会等が実施する除雪ボランティアへの支援、高齢者世帯等の雪下ろしや間口除雪、定期排雪費用の助成など、冬の暮らしの安全・安心の確保・向上を図ります。

消防車両整備事業 **消防・救急体制の充実**
消防車両の整備

岩見沢地区消防事務組合では、さまざまな災害に対応するため、消防車両や資機材の計画的な整備・更新をしています。令和3年度は、「高規格救急自動車」を整備します。



消防事務組合

市民参画・協働のまちづくり推進事業 **地域コミュニティの活性化**
まちづくりに関する支援等

町会等が行う地域コミュニティ活動に加え、まちづくり団体が主体的に行う活動を支援し、自主自立のまちづくりを進めます。

総務部市民連携室



記録的な積雪

- ◆令和2年11月11日 最深積雪 44cm (11月上旬としては過去60年間で最も多い積雪)
- ◆令和2年12月22日 最深積雪142cm (12月観測史上最高)
- ◆令和3年 2月25日 最深積雪205cm (観測史上2位)



迅速な道路除排雪

1回につき、1,000kmを超える除雪等を行っています。

車道除雪延長 968km
歩道除雪延長 142km
運搬排雪延長 90km

(令和3年度道路除排雪計画)



1.地域で支え合う 安全・安心なまち

防災・防犯・地域コミュニティ

目次

「安全・安心」は、まちづくりの基本となるものです。

災害の発生に備えた地域防災力の向上を図るとともに、冬期間の安全確保や消防・救急体制の充実、防犯・交通安全対策・消費者保護など、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。

また、地域のつながりや支え合い、主体的なまちづくり活動に対する支援や男女共同参画社会の実現に向けた環境整備を進めます。

 総合戦略事業

1.地域防災力の向上

-  **防災対策事業** 3,193万円
防災訓練や出前講座、防災備蓄品の計画的な整備
-  **災害等応急対策事業** 5,000万円
風水害、地震、雪害など、災害時の緊急的な対応
-  **北村地区地域再編推進事業** 670万円
遊水地事業の円滑な推進のための地域再編等

2.総合的な雪対策の推進

-  **高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業** 4,103万円
高齢者世帯等の雪下ろしや間口除雪等の費用を助成
-  **除排雪事業** 13億5,735万円
地域や事業者との連携により、総合的な雪対策を推進

3.消防・救急体制の充実

-  **消防車両整備事業** 4,090万円
消防車両を年次計画で更新し、消防力を強化

4.安全・安心な生活環境の確保

-  **交通安全対策事業** 1,459万円
交通指導員等による交通安全指導や啓発活動を実施
-  **消費生活安定向上事業** 640万円
消費者センターを核として消費者被害の防止等を推進

5.地域コミュニティの活性化

-  **市民参画・協働のまちづくり推進事業** 1,134万円
地域コミュニティの活性化に対する支援 拡充

6.男女共同参画社会の実現

-  **男女共同参画社会推進事業** 235万円
第3次計画に基づき、女性の活躍推進やDV防止を図る



【岩見沢市まちづくり基本条例第3条 基本理念】

市民、議会及び市長等は、それぞれ役割を果たしながら、情報共有、参加及び協働のもと、自立した地域社会を実現する、市民主体による自主自立のまちづくりを基本理念とします。

2. みんなが健康で 元気に暮らせるまち

予算のポイント

令和3年度予算のポイント

新型コロナウイルス感染症予防事業ほか

健康づくりの推進ほか

新型コロナウイルスの感染症対策



公共施設等における抗菌・抗ウイルスコーティング剤の噴霧をはじめ、ホームページやSNSなど様々なツールによる啓発・注意喚起のほか、市立総合病院における発熱外来の設置やリモート面会など、感染症の拡大防止に向けた取組みを進めます。

健康福祉部健康づくり推進課ほか

健康経営都市推進事業

健康づくりの推進

健康経営都市の推進

生活・健康づくりサービスの提供基盤の構築や、農・食・健康を連動させた健康関連産業の創出など、北大COIと連携し、産学官金が一体となって、市民の健康を支える「健康コミュニティ」を推進します。

小学1年生に配付する健康づくりの絵本をはじめ、健康予報システムの拡充やげんき発見ドックの実施などを行います。



健康福祉部健康づくり推進課

共生のまちづくり推進事業

障がい者福祉の充実

障がいのある人を支援

就労継続支援事業所が行う障がい者の雇用増加のための設備投資に対し、費用を一部助成するほか、福祉制度等の相談窓口を新たに開設します。

健康福祉部福祉課



新市立総合病院建設事業ほか

地域医療体制の充実

地域医療の充実に向けて



質の高い医療サービスを提供するため、医療機器を計画的に整備・更新するとともに、地域センター病院として良質で安全・安心な医療を提供するため、新病院の建設に向けた取組みを進めます。

市立総合病院事務部管理課ほか

●市民の健康づくり拠点「いわみざわ健康ひろば」●

岩見沢市3条西4丁目
第2ポルタビル1階
開館時間 午前10時～午後5時
(日・祝・年末年始休館)
電話 0126-35-5138



肌年齢測定器



骨健康度測定



血管年齢測定



体組成測定



血圧測定

【開館日】血圧・体組成・血管年齢・骨健康度・肌年齢等の測定。

【火曜日】健康チェックの日。測定や保健師などによる健康相談。

【水曜日】シニアのための介護予防体操教室や保健師等によるミニ講話。

【木曜日】北大COIの日。乳幼児健康測定や健康講座など。

【月1回】フードデイ。地元食材を使った健康メニューの紹介や試食。

いずれも無料

※食材費等の実費相当分をご負担いただく場合があります。



北海道大学COI

COI(センター・オブ・イノベーション)とは、文部科学省・科学振興機構が実施している研究開発支援プログラムです。北海道大学COIは、「食と健康の達人」をテーマに、「美味しい食と楽しい運動」で健康で笑顔あふれる幸せな生活を実現するため、北海道大学を中心に30社以上の企業によるプロジェクトです。

自治体では岩見沢市のみを実証フィールドとして、研究開発に取り組んでいます。

市民一人ひとりが生きがいをもって元気で健康に暮らすことができれば、まち全体が元気になります。誰もがいつまでも健やかで生き生きと暮らすことができるよう、市民の健康づくりや高齢者・障がい者福祉、地域医療の充実に努め、地域全体で市民の元気で健康な生活を支える「健康コミュニティ」を推進します。

 総合戦略事業

1.健康づくりの推進

- 保健総務管理事業 1,991万円
「いわみざわ健康ひろば」を拠点とした健康づくり
- 健康寿命延伸事業 拡充 7,551万円
健康相談や健康教室など健康寿命の延伸を目指す
-  健康経営都市推進事業 2,422万円
産学官金の連携による健康経営都市を推進
- 疾病予防推進事業 1億7,348万円
検診や予防接種を実施し、感染症の発生や蔓延を予防
- 新型コロナウイルス 新規 感染症予防事業 3,000万円
感染拡大防止の啓発や衛生管理の強化

2.高齢者福祉の充実

- 高齢者・障がい者の見守り支援事業 543万円
緊急時の消防への通報や現場かけつけ、健康相談を実施
- 介護サービス利用者負担軽減事業 1,140万円
低所得者の介護サービスの利用者負担の一部軽減
- 市民後見推進事業 165万円
成年後見制度の周知や市民後見人の養成

- 高齢者のげんきづくり支援事業 2,007万円
高齢者の「げんきづくり」につながる事業に対する支援
- 長寿祝金事業 280万円
白寿を迎える方を対象に、3万円及び祝状を贈呈
- 地域支援事業 5億9,730万円
地域で暮らす高齢者への地域包括ケアシステムの構築

3.障がい者福祉の充実

- 障害者自立支援給付事業 33億3,221万円
障害福祉サービスや医療費の助成、障がい児の通所支援
-  共生のまちづくり推進事業 拡充 1億6,466万円
障がいへの理解促進と差別の解消を図る

4.地域福祉の推進

- 社会福祉協議会運営補助事業 6,689万円
社会福祉協議会の安定的な運営と事業の充実を支援
- 民生委員児童委員協議会
運営費交付等事業 2,529万円
地域福祉の推進を担う、民生委員・児童委員の活動を支援

5.社会保障制度の適正な運営

- 生活困窮者自立促進支援事業 3,506万円
生活困窮者の相談受付や自立支援等、学習支援を実施
- 生活保護運営事業 3,451万円
生活習慣病の重症化予防等のための健康管理支援を実施
- 特定健康診査等事業 5,985万円
生活習慣病の予防、早期発見のため、特定健康診査を実施
- 保健衛生普及事業 3,774万円
人間ドック・脳ドックの助成、がん検診（無料）を実施
- データヘルス事業 1,563万円
糖尿病等の重症化予防、多受診者の保健指導等を実施

6.地域医療体制の充実

- 医療機械器具等整備事業 1億5,869万円
外科用移動型デジタルX線透視撮影装置等の整備更新
- 新市立総合病院建設事業 5,900万円
新病院建設に向けた基本計画の策定
- 新型コロナウイルス 新規
感染症医療体制確保事業 8,595万円
発熱外来の設置や、リモート面会サービスの実施など

「人」も「まち」も「企業」も元気で健康!



健康経営都市の推進

共生社会の実現

まもる健康

つくる健康

つなぐ健康

ささえる福祉

つながる福祉

さんかする福祉



3. 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち

予算のポイント

令和3年度予算のポイント

ICT農業普及促進事業ほか

農林業の振興

スマート農業の普及促進等

スマート・アグリシティの実現に向け、通信環境の最適化に関する検証(5G、ローカル5G、地域BWA、LPWA等の組合せ)や普及啓発など、社会実装に向けた実証・経済評価等を行うほか、土づくりの推進を図るため、物理性土壌分析に必要な機器等を整備します。



農政部農務課、北村産業振興課

商工金融円滑化事業

商工業の振興と中心市街地の活性化

円滑な資金繰りを支援

新型コロナウイルス感染症の影響による市内中小企業者の資金繰りの円滑化を図るため、災害対策資金に借換えを追加し、資金調達をサポートします。

経済部商工労政課



プレミアム付建設券発行支援事業

商工業の振興と中心市街地の活性化

プレミアム付建設券の発行



市内建設業の受注機会の確保や市内で持家に居住する世帯の定住促進を図るため、主体的に「プレミアム付建設券」を発行する経済団体、建設業団体等に対し、事業費の一部を支援します。

経済部商工労政課

観光振興戦略推進事業

地域資源を活かした観光の振興

観光プロモーションの展開



交流人口の増加と地域経済の活性化を図るために観光協会や関係機関と連携し、北村温泉を拠点とした着地型旅行商品の造成やフィルムコミッションの活用、6次化商品の新規開発などを進めます。

経済部観光物産振興課

就業・就農・創業に関する支援

岩見沢市では、働くことに関する独自の支援を展開し、働く方の応援をします。移住・定住にも関連する主な取組みを紹介します。

在宅就業の支援

子育てや介護などで通勤型就業が難しい方のニーズに対応した就業をサポート。

新規就農・農業後継者の育成

農業知識や技術習得のための各種研修受講等の支援、新規就農後の早期経営安定のための支援。

起業・開業資金の支援

起業・開業資金などを目的とした融資制度では、低利融資、利子補給で支援。

創業の支援

開業までに要した費用(店舗等借入費、設備費、広報費等)の一部を助成。



中心市街地の店舗改修補助

中心市街地における空き店舗への新規出店、既存店舗の魅力向上に向けた改修への支援。

事業所の新築や賃貸費用の助成

事業所の新築、増築による物件の取得費、設備機器の購入、事業所の賃貸にかかる費用の一部を助成。

人口減少社会の克服には、経済の活性化や定住・交流人口の増加による地域の活力の創出が不可欠です。関係団体や事業者とも連携し、農業・商工業の振興を図るとともに、新産業の創出や企業立地を推進し、雇用の拡大に努めます。また、観光の振興や中心市街地の活性化を通じた賑わいの創出を図るとともに、移住・定住の促進に向けた多様な施策を展開します。

 総合戦略事業

1. 農林業の振興

- 担い手・農業法人等育成支援事業 863万円
暗きよ整備への支援や農地の集積に対する支援
-  新規就農・農業後継者育成支援事業 2,573万円 拡充
新規就農者に対する各種支援や就農者の育成・確保
- 地産地消等所得向上対策事業 622万円
消費者へのPR、販路拡大による農業者の所得向上を図る
- 産地づくり推進事業 2,268万円
収量・品質が低下している玉葱の生産改善に向けた取組み
-  ICT農業普及促進事業 250万円 拡充
スマート農業の社会実装に向けた実証・経済評価等の実施
-  地域産業協働促進事業 250万円
企業と連携した新規農産物の導入や試験栽培等の取組支援
- 農業拠点施設管理事業 1,458万円 拡充
土壌診断を行い、土づくりの推進を図る
- 鳥獣対策事業 1,594万円
鳥獣等の捕獲・駆除の実施や侵入防止柵等の対策を推進

- 土地基盤整備事業 5,472万円
基幹的排水路の施工等を進め、農業経営の安定を図る
- 国営造成施設管理体制整備促進事業 8,122万円
農業水利施設等の維持・補修を支援
- 多面的機能支払・環境保全向上対策事業 6億8,743万円
環境負荷低減と環境保全効果の高い営農活動を支援
- 用排水施設維持管理事業 7億8,099万円
農業用排水路及び排水機場の維持管理
- 林業振興事業 2,802万円
森林の持つ公益機能の発揮と森林資源の循環を促進



2. 商工業の振興と中心市街地の活性化

- 商工金融円滑化事業 **拡充** 21億2,345万円
低利融資等による中小企業の円滑な資金調達を支援
- ⑨ 創業支援事業 1,250万円
創業希望者に対する相談・創業塾・融資相談等の支援
- ⑨ プレミアム付建設券発行支援事業 6,500万円
経済団体等が主体的に行うプレミアム付建設券発行を支援

3. 新産業の創出と企業立地の推進

- ⑨ 中心市街地活性化対策事業 3,584万円
イベント事業や魅力ある商店街づくりに向けた支援
- ポルタビル利用促進事業 1億2,150万円
施設の安全性や利便性向上、長寿命化に向けた工事等

4. 雇用の拡大と就業環境の充実

- ⑨ 新産業創出促進事業・企業立地推進事業 2,387万円
地域の特性を活かして行うビジネス展開への支援
- ⑨ 職業能力向上事業 918万円
中小企業が雇用する労働者の職業訓練の実施、育成支援

5. 地域資源を活かした観光の振興

- ⑨ 観光振興戦略推進事業 924万円
観光協会への支援、観光プロモーションの強化
- ⑨ ふるさと毛陽地域振興事業 4,985万円
メープルロッジの充実、アクティビティの整備

6. 移住・定住の促進

- ⑨ シティプロモーション推進事業 161万円
岩見沢市が持つ魅力の発信により、居留意欲の向上を図る
- 地域おこし推進事業 924万円
「地域おこし推進員」を配置し、地域活動を展開
- ⑨ 移住定住促進事業 3,804万円
住宅購入の支援や体験住宅など、移住の促進を図る

7. 国際・地域間交流の推進

- 国際交流推進事業 1,068万円
姉妹都市への訪問団派遣や国際交流員(CIR)の招致

4. 豊かな心と 生きる力を はぐくむまち

予算のポイント

令和3年度予算のポイント

不妊・不育症治療費助成事業 子ども・子育て支援の充実 不妊に悩む夫婦への支援

保険が適用されていない特定不妊治療、一般不妊治療及び不育症治療を受けているご夫婦に、北海道の助成に加えて、市独自施策として費用の一部を助成します。

健康福祉部健康づくり推進課



あそびの広場運営事業 子ども・子育て支援の充実 「あそびの広場」の遊具等の充実

であえーる岩見沢3階の子育て支援拠点「こども・子育てひろば『えみふる』」の中心にある屋内型の「あそびの広場」に、療育型遊具や知育玩具などの導入をはじめ、小学生を対象とした身体を育むことのできる教室事業の充実を図ります。

教育部子ども課



ICT教育推進事業(GIGAスクール関連) 学校教育の充実 ICT教育の推進

GIGAスクール構想により整備した児童生徒1人1台のタブレット端末を活用し、グループ学習やプレゼンテーションなどの授業に必要な周辺機器等の整備を進めるとともに教員のICT活用スキルの向上に向けた研修を行います。

教育部学校教育課、指導室



教育大学連携事業 芸術文化・スポーツの振興 学生と市民との交流機会の拡大

有明交流プラザ内の「i-BOX」の運営をはじめ、美術展やコンサート、スポーツイベントへの協力や地域活動・産業振興等への学生の参加などを通じ、大学と市民との交流を推進します。

企画財政部企画室



子育てするなら「いわみざわ」

岩見沢市では、国や道などの標準的な制度を市独自に拡大するなどにより、子育て支援の充実を図っています。岩見沢市の主な子育て支援の取組みを紹介します。

こども・子育てひろば「えみふる」

教育や保健、福祉、交流など、各種の支援機能をまちなかに集約した子ども・子育ての拠点。

保育料の負担軽減

所得状況に応じて保育料を減額細分化するほか、一定の要件のもと、第2子以降の保育料を無料化。

障害児通所支援利用者負担無料化

早期療育推進の観点から、児童発達支援や放課後等デイなど、障害児通所支援の利用者負担を無料化。

妊娠・育児中のママ・パパを応援

スマートフォンアプリを活用し、育児記録や保健師等のアドバイス、予防接種時期などの子育て支援サービス。

子どもの医療費の負担軽減

入院は中学校3年生まで、通院は小学校6年生までの医療費の負担を軽減(所得制限あり)。

産前産後ヘルパー

出産前・出産後の家事や育児が困難な子育て家庭に対し、ヘルパーを派遣し子育てを支援。

あそびの広場・ひなたっ子

「えみふる」に、親子で交流できる「ひなたっ子」、屋内型の「あそびの広場」を開設。

児童見守りシステム(ICタグ)

児童の登下校情報や緊急性の高い情報を保護者にメールで知らせるサービス。

安心して子どもを産み育てることができる環境のもと、地域全体で子どもの健やかな成長を支えるとともに、未来を担う子どもたちの豊かな心と優れた知性、生きる力を育む社会を創ります。

市民一人ひとりが健康で心豊かな人生を過ごすことができるよう、生涯学習の充実や、芸術文化・スポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。

 総合戦略事業

1.子ども・子育て支援の充実

- | | | | |
|---|-----------|--|-----------|
|  子どもの医療助成事業
乳幼児と小・中学生の医療費に対する助成 | 1億9,604万円 |  青少年育成事業
少年の主張大会の開催、地域子ども会事業の活動支援 | 427万円 |
|  ひとり親家庭支援事業 
ひとり親家庭に対する経済的自立の支援 | 2,145万円 |  留守家庭児童対策事業
放課後児童クラブ等の運営及び支援 | 1億2,354万円 |
|  不妊・不育症治療費助成事業
保険が適用されない不妊・不育症治療費の一部を助成 | 995万円 |  保育所入所運営事業
保育料の減額・細分化により家庭の負担を軽減 | 15億721万円 |
|  母子保健推進事業 
各種検診をはじめ、新生児訪問や母子訪問事業などを実施 | 4,315万円 |  栗沢認定こども園運営事業
保育所と幼稚園の一元化施設の運営管理 | 6,176万円 |
|  子ども・子育て支援事業
子ども・子育てプランに基づく子育て支援事業を実施 | 1,150万円 |  病児・病後児保育運営事業
病児・病後児の一時保育により保護者の子育てを支援 | 1,745万円 |
|  子育て総合支援センター事業
子育て総合支援センターを拠点とした相談、各種支援を実施 | 1,941万円 |  保育・教育人材確保事業
保育士、幼稚園教諭の人材確保による保育の質の維持向上 | 300万円 |
|  あそびの広場運営事業 
安心して子育てができる「あそびの広場」の管理運営 | 3,421万円 |  幼稚園入所運営事業
子ども・子育て支援法に基づく給付を実施 | 4億9,702万円 |
|  児童厚生施設運営事業
児童館、来夢21こども館の管理運営及びイベント等の開催 | 7,406万円 |  ブックスタート事業
絵本を通して心触れ合うきっかけをつくる | 144万円 |
|  青少年対策事業
学校・家庭・地域と連携した青少年の非行防止の取組を推進 | 576万円 | | |

2. 学校教育の充実

- ICT教育推進事業 新規 7,782万円
タブレット端末を活用した授業を展開し、学習活動の充実を図る
- 学び・心はぐくむ学校活動支援事業 1,123万円
各学校が主体となり企画・立案する活動への支援など
- 特別支援教育推進事業 4,553万円
特別な教育的支援が必要な児童生徒に応じた支援
- 教育指導振興事業 557万円
いじめ問題対策連絡協議会によるいじめ防止等の調査研究
- コミュニティ・スクール促進事業 119万円
コミュニティ・スクール(CS)の拡大を推進
- 外国語指導助手活用事業 4,643万円
外国語指導助手(ALT)による外国語指導
- 総 教育支援センター事業 1,912万円
専門スタッフによる教育相談や登校支援等を実施
- 学力向上対策事業 345万円
小・中学生対象の学習会等を開催し、基礎学力向上を図る
- 教育研究所運営事業 1,643万円
教職員の資質向上のための養成・研修事業の実施

3. 生涯学習の振興と社会教育の充実

- 市民の学び支援事業 877万円
学習活動の場の提供と、自主的な学習活動への支援

4. 芸術文化・スポーツの振興

- 総 教育大学連携事業 350万円
豊かな人材と知的資源を活かした特色あるまちづくり
- 文化のまちづくり事業 1,080万円
「キタオン」や「まなみーる」を拠点に鑑賞機会を提供
- オリンピック・パラリンピック推進事業 617万円
合宿誘致や選手と市民との交流等を図る
- 健康・スポーツ振興事業 1,520万円
強化指定選手等を対象にアスリート奨励金を交付
- 総 社会教育施設整備事業 500万円
旧美流渡中学校校舎の利活用を検討
- 東山・岡山地区スポーツ施設
運営事業 7,000万円
陸上競技場の第3種公認に必要な改修工事を実施
- 鉄北地区スポーツ施設運営事業 2億9,600万円
市野球場のスコアボードのLED化等の改修



北海道教育大学岩見沢校BOX【i-BOX】

5. 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち

予算のポイント

令和3年度予算のポイント

道路新設改良事業ほか **快適な道路環境の確保**
道路や橋梁など計画的な整備

道路整備5か年計画に基づき、赤川開拓3号線の道路改良をはじめ、橋梁の長寿命化や排水整備、西20丁目通Ⅱ期工区の整備など、計画的な整備を行います。

建設部土木課ほか



住宅政策推進事業 **魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成**
北方型住宅の購入支援

旧耐震基準の木造住宅・避難路沿道のブロック塀について行う耐震診断及び耐震改修等に対する費用の一部助成、北方型住宅の新築または購入に対する費用の一部補助を行います。

建設部建築課



高度情報通信基盤整備事業 **地域情報化の推進**
高度情報通信基盤の高度・安定運用



ICT活用による「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」を目指し、教育や医療・健康、防災、農業など様々な分野におけるICT活用促進に向け、自営光ファイバ網など高度情報通信基盤の高度かつ安定的運用を推進します。

企画財政部企業立地情報化推進室

ICT活用型総合戦略推進事業 **地域情報化の推進**
地域特性・ICT環境の利活用促進

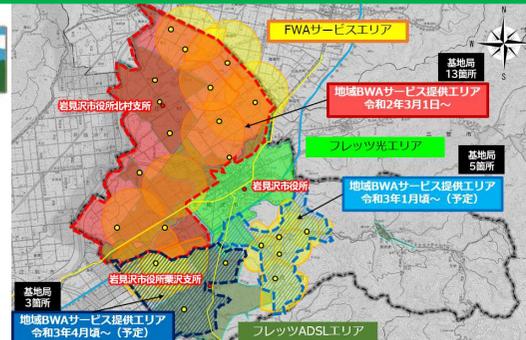


地域特性であるICT環境を基に、ロボティクスやAI、ビッグデータ等の近未来技術活用による持続性を確立する社会「スマート・アグリシティ」の実現を目指し、産学官による有機的連携を図りながら新たな利活用機能の具体化と社会実装を促進します。

企画財政部企業立地情報化推進室

広がるICT（情報通信基盤）インフラ

岩見沢市では、無線通信技術を活用して、インターネットの高速通信が可能となる地域BWAの基地局などの整備を進めています。



利根別原生林の再生

大正池の復旧工事と合わせて広場の整備等も計画的に進めています。



快適かつ安全に暮らすことのできる都市基盤の構築に向け、利便性の高い市街地や快適な居住環境の形成、道路・橋梁の適正な整備と維持管理、公共交通の利便性の向上及び上下水道の適正運営に努めます。

また、緑豊かな自然環境の維持・保全に努めるとともに、循環型社会の形成を推進します。

さらに本市の強みである高度ICT基盤を活用し、様々な地域課題の解決に取り組みます。



1. 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成

- 市民連携活動事業 939万円
町会要望の対応や管理不全な空家の対応
- 駅前通整備促進事業 265万円
街並み景観の整備促進と地元組織への活動支援
- 市営住宅建設事業 7,491万円
更新時期を迎える市営住宅の計画的な改修・整備
- 住宅政策推進事業 406万円
木造住宅及びブロック塀の耐震診断費用等の一部を助成 拡充

2. 快適な道路環境の確保

- 道路新設改良事業 18億8,990万円
道路改良、舗装改良、歩道造成、防じん処理等を実施
- 街路事業 6,120万円
西20丁目通の調査、設計を実施

3. 公共交通の利便性の向上

- 生活交通確保対策事業 9,955万円
公共交通網の構築を進め、市民生活の足の確保を図る

4. 上下水道の適正な運営

- 地域水洗化事業 4,135万円
合併処理浄化槽の設置に対し、設置資金補助等を行う
- し尿処理事業 4,653万円
し尿及び浄化槽汚泥の効率的な処理を実施
- 送水管・配水管整備事業 7億3,107万円
水道施設の更新及び耐震化を行い、水の安定供給に努める
- 下水道築造事業 12億4,101万円
公共用水域の水質保全、大雨による浸水被害の防止等を図る

5. 緑豊かなまちづくりの推進

- ばらのまちづくり推進事業 1,179万円
「バラの街」と言われるまちづくりを市民と協働で推進
- 公園造成事業 8,223万円
遊具等を定期的に点検・診断し、計画的に更新等を実施
- 利根別原生林保全事業 2億9,606万円
利根別原生林の優れた自然環境を保全し、利活用を進める

6. 環境の保全と循環型社会の形成

- 環境対策事業 1,249万円
太陽光発電システムの導入に対する支援を実施
- ごみ処理対策事業 13億7,840万円
ごみ処理三原則を推進し、ごみの減量化・資源化を促進
- ごみ減量化推進事業 2,480万円
ごみの減量・再資源化による循環型社会を目指す



7. 地域情報化の推進

- 高度情報通信基盤整備事業 8,322万円
自営光ファイバ網等の高度情報通信基盤の安定的運用を推進
- ICT活用型総合戦略推進事業 6,500万円
ICT活用によるスマート・アグリシティの実現

いわみざわ公園 バラ園



6. 市民とともに創る 持続可能で自立したまち

予算のポイント

令和3年度予算のポイント

広域交流促進事業 **持続可能な行財政基盤の確立**

広域連携による取組の推進

多様化・複雑化する地域課題の広域的な解決に向け、南空知圏域において広域連携加速化事業に取り組み、持続的な行政サービスの提供につなげます。



企画財政部企画室

スマート・デジタル自治体推進事業 **持続可能な行財政基盤の確立**

スマート・デジタル自治体の推進

行政手続きや窓口対応のスマート化等による行政サービスの高度化をはじめ、業務システムの標準化への対応やペーパーレス化など業務環境の改善・効率化を推進します。



総務部庶務課

市庁舎建設事業 **持続可能な行財政基盤の確立**

市庁舎の建設



防災機能を備えた新庁舎の整備を令和3年11月の竣工、翌年1月の供用開始をめざして進めています。

- ・多目的スペース
- ・屋外テラス
- ・無料Wi-Fi
- ・非常用発電設備
- ・太陽光発電システム
- ・ストレッチャー対応EV
- ・デジタルサイネージ など

総務部新庁舎整備室

ふるさと応援寄附事業 **持続可能な行財政基盤の確立**

ふるさと応援寄附



岩見沢市は、市内外の多くの皆さんから応援いただいています。市外から、ご寄附という形で応援をいただいた皆さんには、少しでも岩見沢の良さを感じていただけるよう、特産品などの返礼品をお送りしています。また、お寄せいただいたご寄附は、市民の皆さまの暮らしに最適な行政サービスとして活用します。

企画財政部企画室

持続可能な行財政基盤

岩見沢市では、行政運営の適正化、持続可能な財政運営、適正な定員管理を行うため、「行政改革大綱」、「中長期財政計画」、「職員定員管理計画」を策定し、取組みを進めています。



【市職員数の推移】

(各年4月1日現在)

部門	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
一般行政部門		413	413	410	415	417	414
教育部門		126	121	119	117	114	113
公営企業部門		578	583	584	579	583	611
消防部門		135	134	134	135	135	134
合計		1,252	1,251	1,247	1,246	1,249	1,272

6. 市民とともに創る 持続可能で自立したまち

市民参画・行財政運営

目次

市民と行政との協働によるまちづくりの推進に向け、積極的な情報発信の充実と市民が市政に参画する機会の拡充を図ります。

また、行財政改革の取組みを進めることにより、持続可能な行財政基盤の確立を図ります。



総 総合戦略事業

1. 開かれた市政の推進

● 広報活動事業

さまざまな媒体を活用し、市民に分かりやすい情報を発信

拡充

7,438万円



2. 持続可能な行財政基盤の確立

● 職員研修事業

政策形成能力の向上及び専門的知識の習得を図る

935万円

● 市庁舎建設事業

防災拠点としての新庁舎の建設工事を実施

51億円

● 公共施設マネジメント推進事業

将来を見据えた経営的視点による公共施設の適正配置を推進

118万円

● ふるさと応援寄附事業

国の「ふるさと納税制度」を活用し、岩見沢市をPR

2億7,682万円

● 広域交流促進事業

多様化・複雑化する地域課題に広域的に取り組む

新規

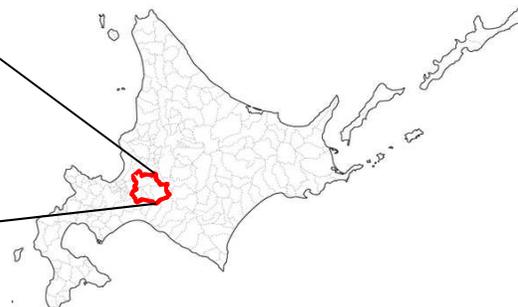
1,462万円

● スマート・デジタル自治体推進事業

市民サービス向上に向けたICT等の未来技術の活用

新規

2,000万円



Ⅱ. 予算のポイント

予算規模

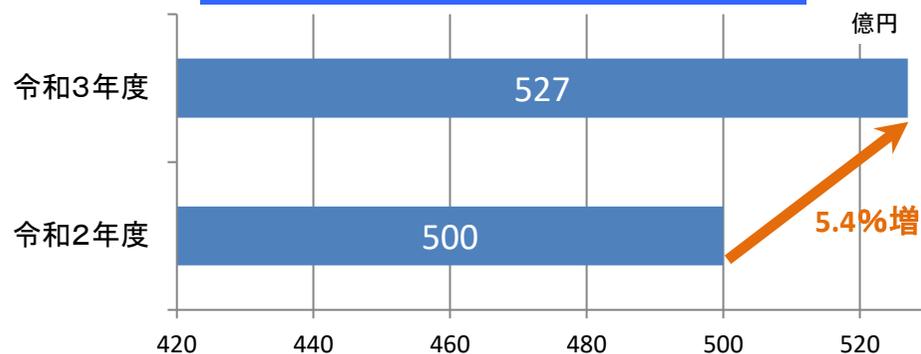
○全会計の令和3年度予算額は、
前年度比3.2%増の954億円

○一般会計の令和3年度予算額は、
前年度比5.4%増の527億円

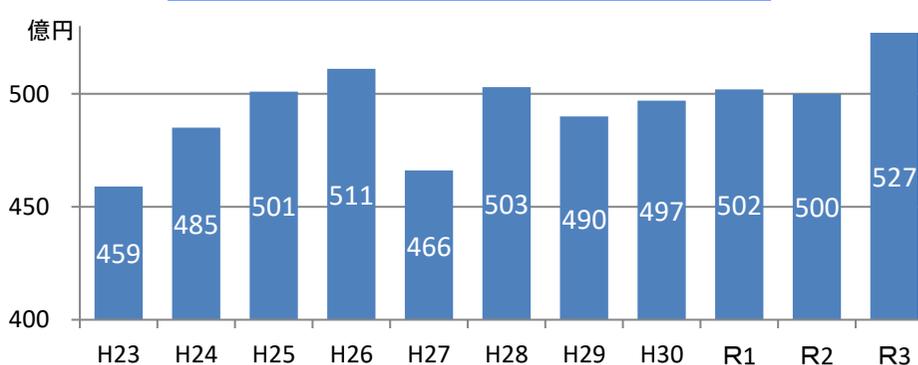
(単位 千円、%)

会計	令和2年度	令和3年度	増減	増減率	
一般会計	50,000,000	52,700,000	2,700,000	5.4	
特別会計	国民健康保険費	8,878,760	9,071,858	193,098	2.2
	公共用地等造成費	134,763	131,843	▲ 2,920	▲ 2.2
	公設卸売市場費	34,267	38,767	4,500	13.1
	高等学校費	590,084	576,369	▲ 13,715	▲ 2.3
	企業用地造成費	28,550	12,093	▲ 16,457	▲ 57.6
	農業集落排水事業費	222,306	240,979	18,673	8.4
	介護保険費	9,757,511	8,890,508	▲ 867,003	▲ 8.9
	後期高齢者医療費	1,410,759	1,425,583	14,824	1.1
	小計	21,057,000	20,388,000	▲ 669,000	▲ 3.2
合計	71,057,000	73,088,000	2,031,000	2.9	
企業会計	病院事業会計	13,830,000	14,191,000	361,000	2.6
	水道事業会計	3,173,000	3,268,000	95,000	3.0
	下水道事業会計	4,315,000	4,825,000	510,000	11.8
	小計	21,318,000	22,284,000	966,000	4.5
総計	92,375,000	95,372,000	2,997,000	3.2	

一般会計当初予算額の比較



一般会計当初予算額の推移



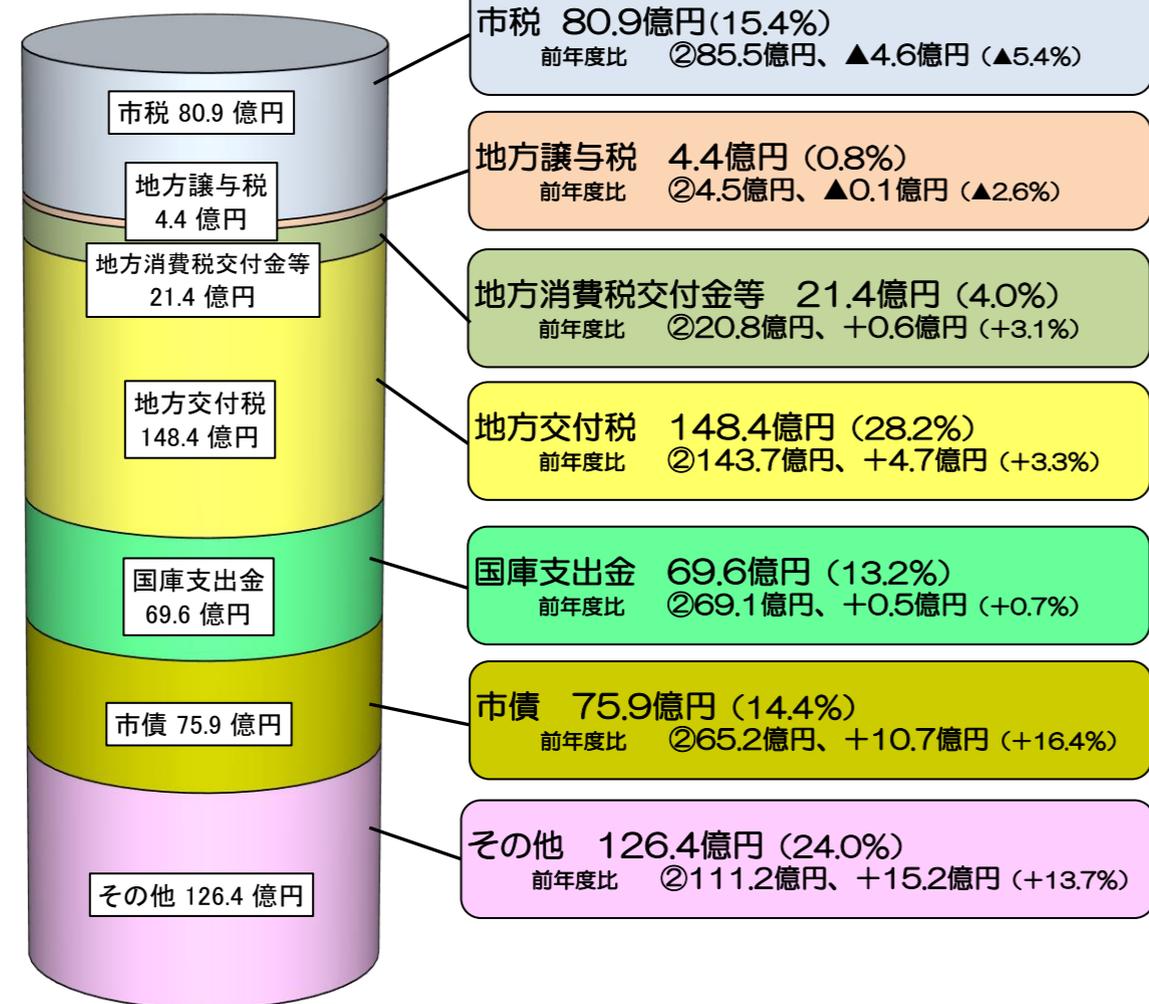
Ⅱ. 予算のポイント

一般会計予算の概要

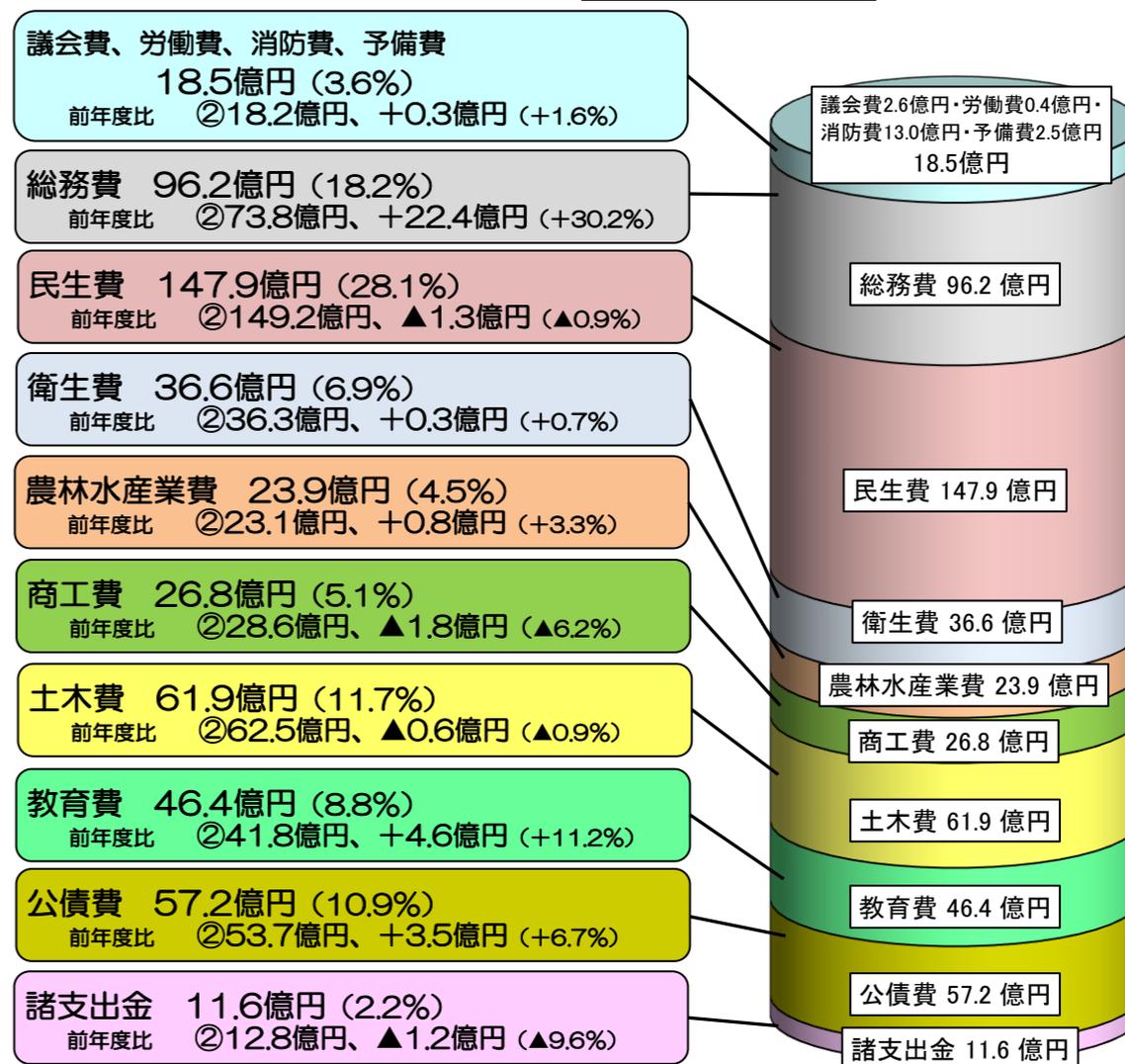
総額 527億円

前年度比 ②500億円、+27億円 (+5.4%)

歳入



歳出



Ⅱ. 予算のポイント

性質別予算一覧

歳入

(単位：千円、%)

区分	令和2年度		令和3年度		比較		
	当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	増減額 C (B-A)	増減率 C / A	
一般財源	市 税	8,551,000	17.1	8,087,000	15.4	▲ 464,000	▲ 5.4
	地方譲与税	449,200	0.9	437,500	0.8	▲ 11,700	▲ 2.6
	地方交付税	14,370,000	28.8	14,840,000	28.2	470,000	3.3
	財政調整基金	970,000	1.9	1,230,000	2.3	260,000	26.8
	臨時財政対策債	864,800	1.7	1,486,500	2.8	621,700	71.9
	その他	2,480,291	5.0	2,362,958	4.5	▲ 117,333	▲ 4.7
	小計	27,685,291	55.4	28,443,958	54.0	758,667	2.7
特定財源	国庫支出金	6,907,177	13.8	6,957,898	13.2	50,721	0.7
	道支出金	3,576,377	7.2	3,659,147	6.9	82,770	2.3
	市 債	5,652,500	11.3	6,102,600	11.6	450,100	8.0
	その他	6,178,655	12.3	7,536,397	14.3	1,357,742	22.0
	小計	22,314,709	44.6	24,256,042	46.0	1,941,333	8.7
計	50,000,000	100.0	52,700,000	100.0	2,700,000	5.4	

歳出

(単位：千円、%)

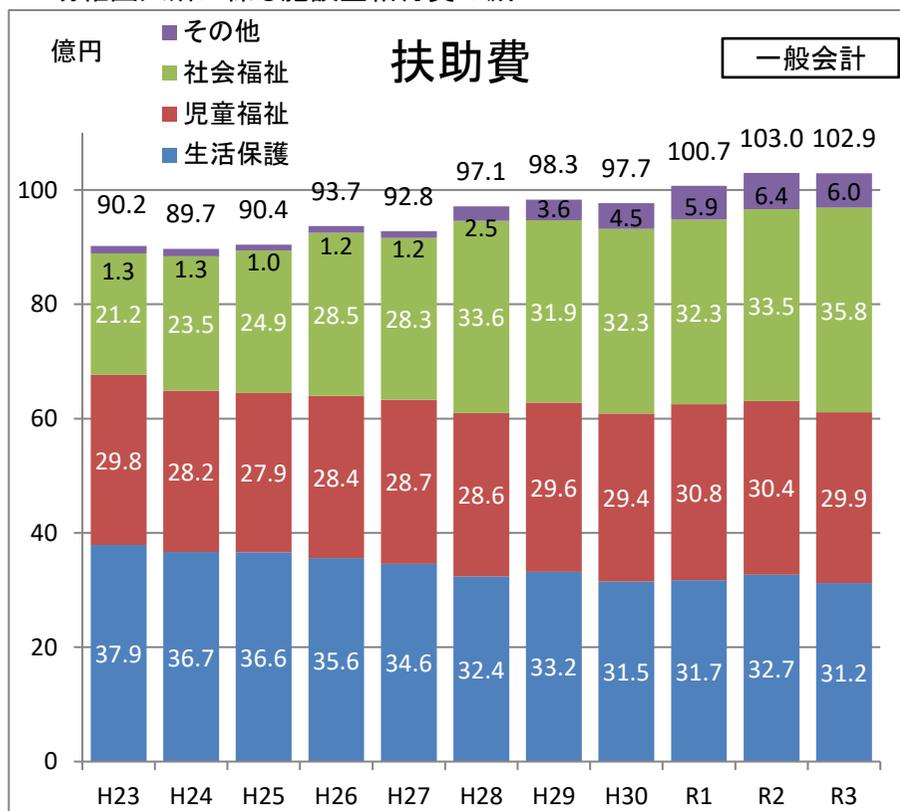
区分	令和2年度		令和3年度		比較		
	当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	増減額 C (B-A)	増減率 C / A	
義務的経費	人件費	5,030,980	10.1	4,895,871	9.3	▲ 135,109	▲ 2.7
	扶助費	10,297,029	20.6	10,288,145	19.5	▲ 8,884	▲ 0.1
	公債費	5,367,831	10.7	5,726,513	10.9	358,682	6.7
	小計	20,695,840	41.4	20,910,529	39.7	214,689	1.0
その他の経費	物件費	6,727,956	13.5	6,891,218	13.1	163,262	2.4
	維持補修費	2,036,461	4.1	1,997,900	3.8	▲ 38,561	▲ 1.9
	補助費等	5,447,469	10.9	5,437,421	10.3	▲ 10,048	▲ 0.2
	繰出金	4,593,922	9.2	4,439,914	8.4	▲ 154,008	▲ 3.4
	積立金	161,653	0.3	271,365	0.5	109,712	67.9
	投資及び出資金	164,100	0.3	0	0.0	▲ 164,100	皆減
	貸付金	3,061,760	6.1	3,262,480	6.2	200,720	6.6
	予備費	250,000	0.5	250,000	0.5	0	0.0
	小計	22,443,321	44.9	22,550,298	42.8	106,977	0.5
	投資的経費	6,860,839	13.7	9,239,173	17.5	2,378,334	34.7
計	50,000,000	100.0	52,700,000	100.0	2,700,000	5.4	

Ⅱ. 予算のポイント

扶助費・建設費

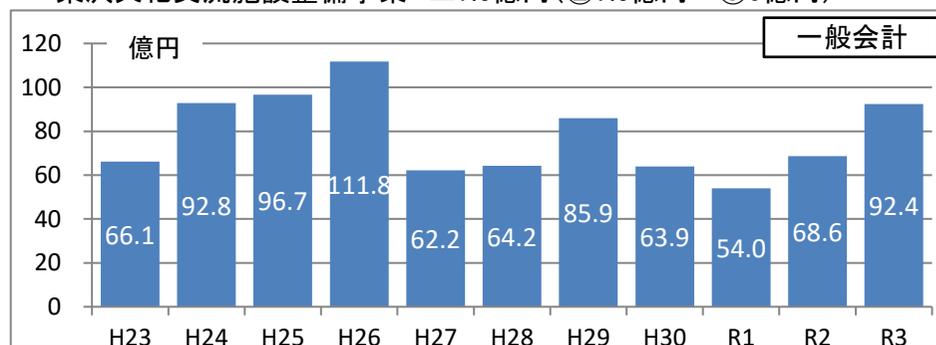
扶助費

- 社会福祉費の増(前年度比+2.3億円、+6.9%)
障がい者自立支援給付費の増
- 生活保護費の減(前年度比▲1.5億円、▲4.6%)
- 児童福祉費の減(前年度比▲0.5億円、▲1.6%)
児童手当及び子どもの医療費の減
- その他の扶助費の減(前年度比▲0.4億円、▲6.3%)
幼稚園入所に係る施設型給付費の減

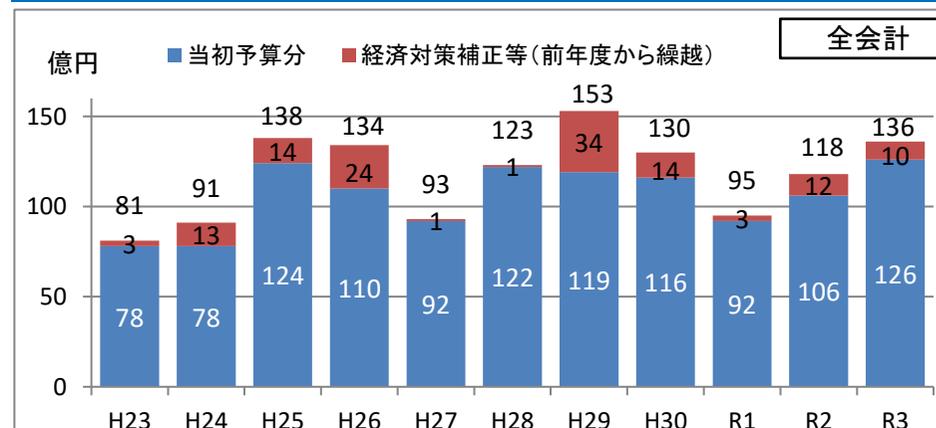


建設費(投資的経費)

- 92.4億円の事業費を計上(前年度比+23.8億円、+34.7%)
- 市庁舎建設事業 +31.0億円(②20.0億円→③51.0億円)
- 南利根別排水機場改修事業 +2.0億円(②2.0億円→③4.0億円)
- 市野球場スコアボード改修事業 +2.9億円(②0億円→③2.9億円)
- 北村温泉施設整備事業 ▲5.0億円(②5.0億円→③0億円)
- 栗沢文化交流施設整備事業 ▲7.6億円(②7.6億円→③0億円)



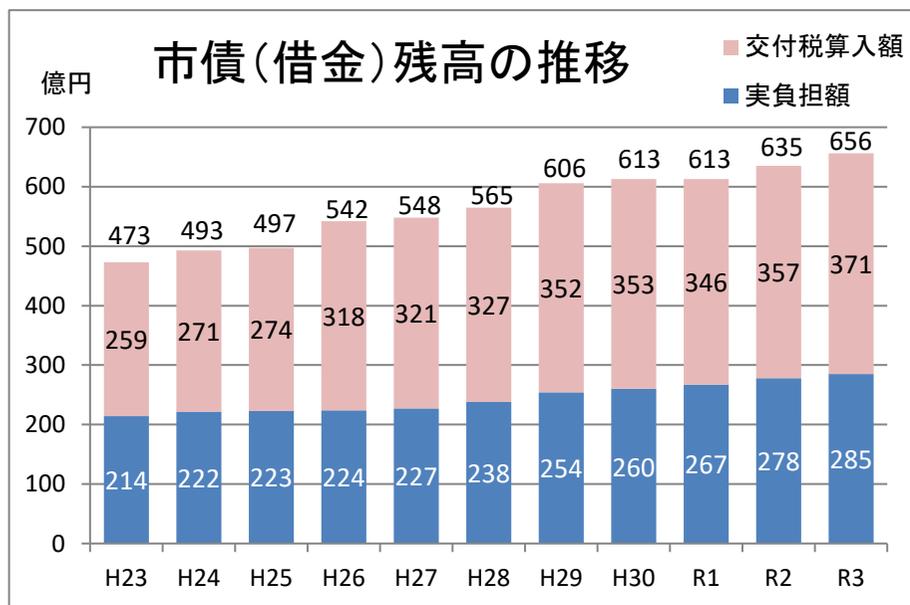
土木・建設事業に類する事業費(投資的経費+除排雪事業+市営住宅・学校修繕等)



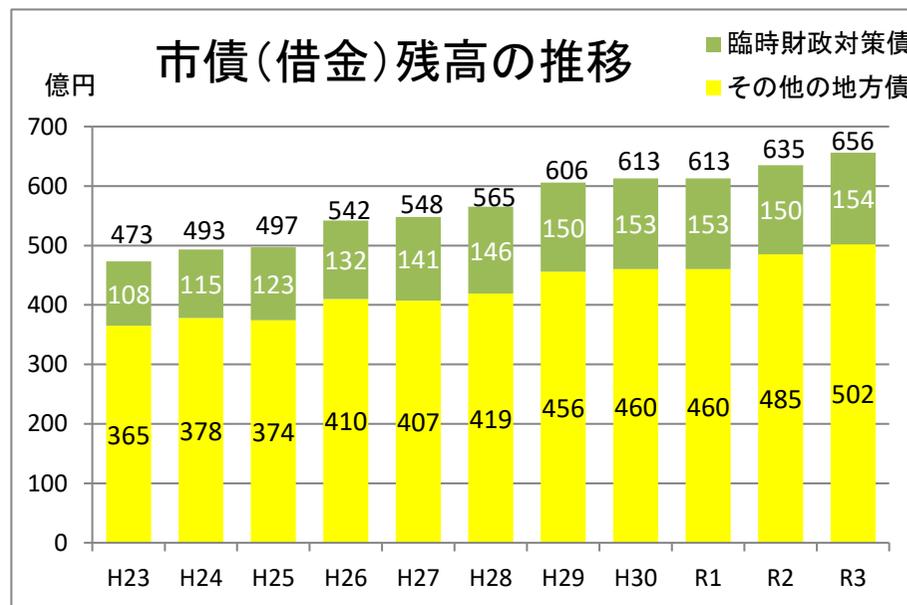
Ⅱ. 予算のポイント

市債の状況

市庁舎建設事業や南利根別排水機場改修事業など、将来に向けた基盤整備のために市債を発行し、世代間負担の公平性を確保するとともに、合併特例債などの財源的に有利な市債(一定の割合が国(交付税)により補てん)の発行に努めており、令和3年度末の市債残高見込みは約656億円となるものの、そのうち元利償還金に対する交付税算入額を除いた実負担額は、約285億円(約43%)となる見込みです。



※ 市債残高は、平成29年度末から600億円台となっておりますが、交付税算入額を除いた実負担額の伸びは最小限に抑えています
(平成23年度比:残高+183億円、実負担額+71億円)

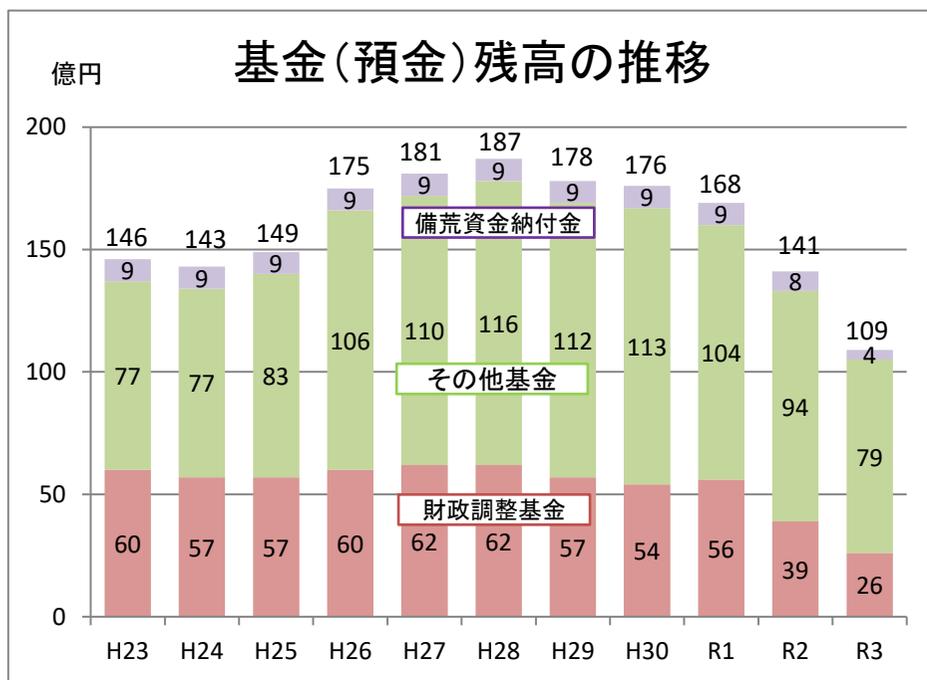


※ 臨時財政対策債は、交付税の不足分を国と地方が折半して補填するルールに基づくものであり、その全額が後年度に交付税算入されず臨時財政対策債を除いた残高は一般会計の予算規模を下回っています

Ⅱ. 予算のポイント

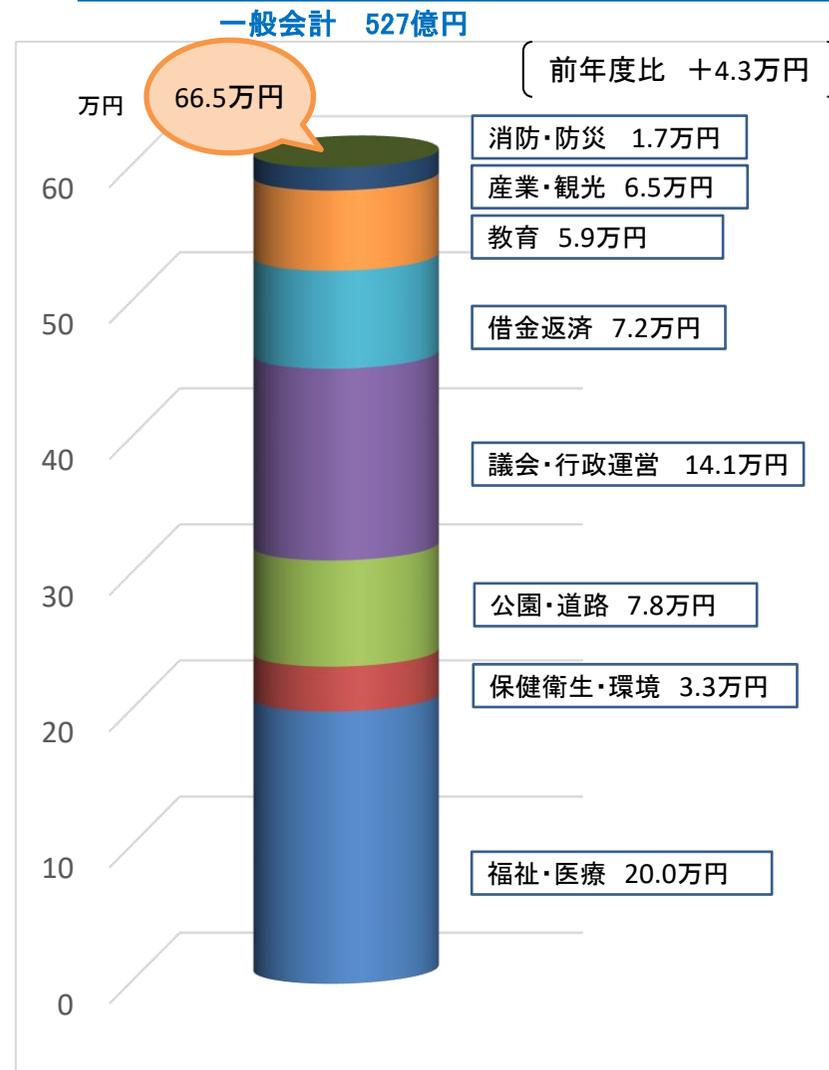
基金の状況

事業実施にあたっては国・道の補助金や市債を有効活用しておりますが、市庁舎建設などの大規模事業や総合戦略事業の実施により、基金残高は約109億円まで減少する見込みです。



※ 財源不足に対応するため財政調整基金から12.3億円の繰入れを計上
 ※ 基金残高には、北海道備荒資金組合納付金(4億円)を含む

市民一人当たり66.5万円の使い道は



II. 予算のポイント

各種財政指標

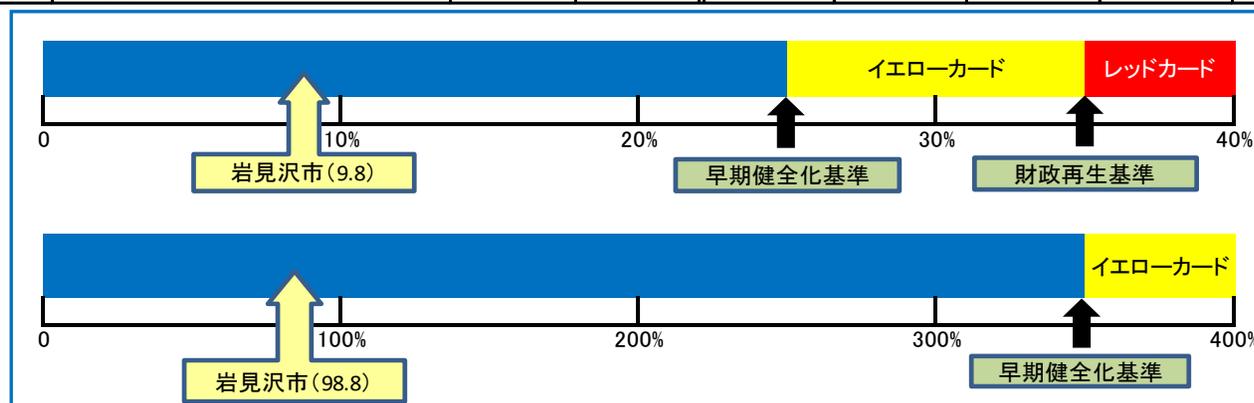
財政指標

比率	内容	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	R3見込
経常収支比率	財政構造の弾力性をあらわす指標であり、数値が低いほど弾力性が高いことを示す	93.8	92.4	94.2	96.8	97.8	98.5	98.5	96.4
財政力指数 (3か年平均)	標準的な行政活動を行うために必要な一般財源に対する市税等の割合を示す指標であり、数値が高いほど財政運営の自主性が高いことを示す	0.372	0.379	0.384	0.386	0.385	0.385	0.387	0.391

健全化判断比率

比率	内容	早期健全化基準	財政再生基準	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	R3見込
実質赤字比率	市税・交付税などの市の収入に対する一般会計等の赤字額の割合	約12%	20%	赤字なし							
連結実質赤字比率	市税・交付税などの市の収入に対するすべての会計の赤字額の割合	約17%	30%	赤字なし							
実質公債費比率	市税・交付税などの市の収入に対する借金返済費用の割合	25%	35%	8.7%	6.8%	5.9%	5.9%	6.5%	7.4%	8.6%	9.8%
将来負担比率	市税・交付税などの市の収入に対する一般会計等が将来負担すべき借金などの割合	350%	-	43.4%	43.0%	44.9%	54.6%	61.4%	64.9%	81.9%	98.8%

実質公債費比率
(R3見込)



※ 財政状況をチェックする比率で、早期健全化基準を大きく下回るなど、健全財政を維持しています

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部 名	事 業 名	総 額	3年度		事 業 内 容
			当 初	追加補正	
総 務 部	※ 広報活動事業 	74,375	74,375		市民との情報共有を図るため、広報紙やホームページなど様々な媒体を活用し、迅速・的確で分かりやすい市民目線に立った情報発信に努める。 【新規】 ホームページリニューアル業務委託料 12,540 千円
	※ 市庁舎建設事業    	5,100,000	5,100,000		現庁舎の耐震性や利便性など様々な問題点を踏まえ、市民が利用しやすく、簡素で機能性と経済性に優れ、総合的な防災・災害復旧の拠点となる新庁舎の建設工事などを進める。 新庁舎改築工事 4,082,560 千円 【新規】 外構工事 1 工区 120,000 千円 【新規】 現庁舎解体工事 114,000 千円
	防災対策事業  	31,922	31,922		災害に強い地域社会を実現するため、自助・共助による地域防災力の向上を図るほか、市民が適切な避難行動をとることができるよう、多様な情報発信手段による速やかな情報伝達を図る。 また、感染症対策やペットの受入れなど新たなニーズにも対応した避難所運営を進めるとともに、必要な備蓄品の計画的な整備を行い、避難しやすい環境構築を図る。
	市民連携活動事業  	9,382	9,382		町会（自治会）からの陳情・要望の受付及び町会との現地確認並びに回答を行うほか、管理不全な空き家のパトロールや所有者への指導、不良空家の除却を促進する。 不良空家除却補助金 5,000 千円
	※ スマート・デジタル自治体推進事業   	20,000	20,000		【新規】 ICTや未来技術活用のもと、行政手続きや窓口対応のスマート化等による行政サービスの高度化をはじめ、業務システムの標準化への対応やペーパーレス化など業務環境の改善・効率化を推進する。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

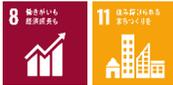
部名	事業名	総額	事業内容	
			3年度当初	2年度追加補正
企画 財政 部	※ 広域交流促進事業  	14,612	14,612	「南空知ふるさと市町村圏組合」を通じた交流事業を推進するとともに、多様化・複雑化する地域課題の広域的な解決に向け、南空知圏域において、広域連携加速化事業に取り組み、持続的な行政サービスの提供につなげる。 【新規】 広域連携加速化事業 10,000 千円
	生活交通確保対策事業  	99,550	99,550	岩見沢市地域公共交通活性化協議会などでの協議を踏まえ、公共交通のさらなる利便性向上と利用の促進に向けた取組みを進める。 また、バス路線をはじめとする市民の足を将来にわたって維持していくため、運行経費の一部支援等を行う。
	公共施設マネジメント推進事業 	1,178	1,178	「岩見沢市公共施設等総合管理計画」及び「岩見沢市公共施設再編基本計画」に基づき、施設単位での具体的な対応方針を示す個別施設計画の策定を進め、公共施設の適正配置を図る。
	地域おこし推進事業  	9,240	9,240	人口減少や高齢化等の進行が著しい地域に、市外から意欲ある新たな人材を誘致し、定着を図るとともに、地域資源を活かした活動を支援することにより、活力と魅力ある地域づくりを行う。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部 名	事 業 名	総 額	事業内容	
			3年度 当 初	2年度 追加補正
企 画 財 政 部	 移住定住促進事業	38,032	38,032	<p>「第2期岩見沢市総合戦略」に基づき、移住定住に係る相談窓口の充実、移住者が住宅を購入する際の助成、移住を検討している方への体験住宅の提供、東京圏からのUIJターンへの支援を行うことで、移住定住の促進を図る。</p> <p>空き店舗・空き家等利活用促進事業 21,000 千円 住宅購入支援事業 12,000 千円 お試し暮らし事業 1,898 千円 UIJターン促進支援事業 2,000 千円</p>
	 ふるさと応援寄附事業	276,816	276,816	<p>ふるさと納税制度を活用して岩見沢の魅力为全国に発信し、知名度の向上を図ることにより、岩見沢に関わる人を増やし、魅力あるまちづくりを進める。</p>
	 ※ 教育大学連携事業	3,500	3,500	<p>有明交流プラザ内の「i-BOX」の運営をはじめ、美術展、コンサート、スポーツイベントへの協力や、地域活動、産業振興等への学生の参加などを通じ、大学と市民との交流を推進する。</p> <p>【新規】 地域交流推進補助金 500 千円</p>
	 高度情報通信基盤整備 事業	83,219	83,219	<p>ICT活用による「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」を目指し、教育や医療・健康、防災など様々な分野におけるICT利活用促進に向け、自営光ファイバ網など高度情報通信基盤の高度かつ安定的運用を推進する。</p>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	総額		事業内容
			3年度当初	2年度追加補正	
企画 財政部	※ ICT活用型総合戦略推進事業 	65,000	65,000		地域特性であるICT環境を基に、ロボティクスやAI、ビッグデータ等の未来技術活用による持続性を確立する社会「スマート・アグリシティ」の実現を目指し、産学官による有機的連携を図りながら新たな利活用機能の具体化と社会実装を促進する。 【新規】 未来技術等社会実装促進業務 5,000 千円 【新規】 オープンデータ化・利活用調査業務 20,000 千円
	健康福祉部 障害者自立支援給付事業 	3,332,203	3,332,203		障がいのある人が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス等を提供し、福祉の増進を図る。 また、基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を提供する障害児通所支援について、利用者負担額を無料（市独自施策）とし、早期療育を推進する。
	※ 共生のまちづくり推進事業 	164,651	164,651		バリアフリーの推進や障がいの特性に合わせた施策展開により社会参加を促進し、互いに支え合い、安心して暮らせる共生のまちづくりを推進する。 アール・ブリュットギャラリーでの障がいのある人の芸術作品の鑑賞機会の提供等を通じて市民の障がいへの理解を深め、芸術文化によるまちづくりを推進する。 【新規】 障がい者就労継続支援事業所設備整備事業 5,000 千円 【拡充】 障がい者相談支援の強化 10,000 千円 【新規】 アール・ブリュットギャラリー運営等経費 6,097 千円
健康福祉部	※ ひとり親家庭支援事業 	21,446	21,446		ひとり親家庭の生活の安定と児童の健全育成に結びつくよう、母子・父子の経済的自立を支援する。 【拡充】 ひとり親家庭児童修学援助金 2,500 千円

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	3年度	2年度	事業内容
			当初	追加補正	
健康福祉部	 高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業	41,029	41,029		自力で除排雪が困難な高齢者・障がい者世帯等に対し、冬期間における日常生活の安全確保を図る。 町会等除雪ボランティア支援 7,818 千円 岩見沢市社会福祉協議会と連携し、地域（町会等）の除雪ボランティア活動を支援する。 冬の暮らし支援事業 30,000 千円 高齢者・障がい者世帯等を対象に屋根の雪下ろし・間口除雪・定期排雪に係る費用の一部を助成する。
	  高齢者・障がい者の見守り支援事業	5,426	5,426		病弱な高齢者・障がい者世帯が地域で安心して暮らすことができるよう、緊急時の消防への通報や現場へのかけつけ、看護師等専門職による24時間相談などの民間サービスを利用する際の費用の一部を助成する。 緊急通報サービス助成 5,100 千円
	  介護サービス利用者負担軽減事業	11,398	11,398		介護サービスを利用している低所得者に対し、負担軽減を行う。 訪問介護サービス利用者負担軽減事業（市独自施策） 8,518 千円 社会福祉法人等利用者負担軽減事業 2,880 千円

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	3年度		事業内容
			当初	追加補正	
健康福祉部	高齢者のげんきづくり支援事業 	20,065	20,065		岩見沢市老人クラブ連合会や町内会、老人クラブなどが実施する「げんきづくり」につながる事業を支援する。 高齢者の生きがいがづくり推進事業 2,586 千円 高齢者の健康を「まもる・つくる・つなぐ」事業（市老連が企画・実施）への助成 高齢者の健康づくり推進事業 700 千円 敬老事業 11,316 千円 老人クラブ活動運営事業 5,463 千円
	地域支援事業（特別会計介護保険費） 	597,267	597,267		介護予防、保健医療、福祉の向上を促進し、地域において自立した日常生活ができるよう支援する。 介護予防・日常生活支援総合事業 479,839 千円 包括的支援事業・任意事業 117,428 千円
	子どもの医療助成事業 	196,037	196,037		子育て世帯の経済的な負担軽減を図り、子どもの健康を増進し、安心して子育てができるよう、子どもの医療費を助成する。 通院医療費助成（小学校6年生まで） 入院医療費助成（中学校3年生まで） 医療費無料化、小学生の通院・中学生の入院医療費助成は市独自施策として実施 105,800 千円

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容		
			3年度当初	2年度追加補正	
健康福祉部	特定健康診査等事業 (特別会計国民健康保険費) 	59,844	59,844		医療費増加の要因となっているメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査及び特定保健指導を無料で実施し、生活習慣病の予防と早期発見につなげる。
	保健衛生普及事業 (特別会計国民健康保険費) 	37,734	37,734		人間ドック・脳ドック費用の一部助成、がん検診の自己負担額を無料とし、疾病の予防や早期発見につなげ、健康寿命の延伸を図る。
	データヘルス事業 (特別会計国民健康保険費) 	15,623	15,623		診療報酬明細書（レセプト）と特定健康診査のデータを分析・活用した保健事業計画（データヘルス計画）に基づき、糖尿病や高血圧症の重症化予防、ジェネリック医薬品の利用促進、医療機関への受診勧奨、多受診者指導、服薬情報通知等を行い、効率的・効果的な保健事業を推進する。
	保健総務管理事業 	19,904	19,904		「いわみざわ健康ひろば」を拠点に、市民一人ひとりの健康づくりを支援する。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容	
			3年度当初	2年度追加補正
健康福祉部	健康寿命延伸事業 	75,504	75,504	市民の健康を「まもる」、「つくる」、「つなぐ」ため、ライフステージに応じた健康の保持増進や疾病の予防及び早期発見等につながる事業を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策の徹底による安全安心ながん検診等の保健事業を実施する。 また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業として、医療費データを活用した課題分析や生活習慣病の重症化予防、フレイル予防等の事業を行う。 健康診査事業 13,271 千円 がん検診事業 40,452 千円 高齢者健診事業 5,667 千円
	健康経営都市推進事業 	24,220	24,220	産学官金の連携のもと、生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築をはじめ、「農・食・健康」の連動による産業の創出に向けた取組みを進める。 また、北海道大学COIと連携して実施する「げんき発見ドック」や、口と口の周りの筋力を高める「クチトレ」の効果検証などの取組みを進める。 さらに、親子で健康への関心を持つきっかけづくりとしてもらうとともに、子どもに正しい生活習慣を身につけるための教材として制作した健康づくりの絵本を新1年生に配付する。
	疾病予防推進事業 	173,473	173,473	疾病・感染症の発症及びまん延を予防し健康な生活を送ることができるよう、定期の予防接種を実施する。 また、風しんの流行抑制、特に出生児の先天性風しん症候群の防止を図るため、抗体検査、予防接種費用を助成 (S37.4.2～S54.4.1生の男性) するとともに、妊娠を希望する女性で抗体検査を受け、陰性であった方を対象に予防接種費用の一部を助成する。
	母子保健推進事業 	43,147	43,147	少子化、核家族化等の進行に伴う育児不安を軽減し、母子の健全な育成と、安全・安心な出産を支援するため、乳幼児健診や家庭訪問などを実施し、疾病の予防及び早期発見に努める。 また、1歳6か月児健診時にフッ素塗布を無料で実施し、幼児期の歯科保健対策の推進を図る。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部 名	事 業 名	総 額	3年度		事 業 内 容
			当 初	追加補正	
健康福祉部	不妊・不育症治療費助成事業 	9,950	9,950		赤ちゃんを望む夫婦に経済的負担の大きい不妊症及び不育症の治療費の一部を市の独自施策として助成し、安心して妊娠・出産できるよう支援する。 特定不妊治療費助成事業 8,500 千円 一般不妊治療費助成事業 1,250 千円 不育症治療費助成事業 200 千円
	※ 新型コロナウイルス感染症予防事業 	30,000	30,000		【新規】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、広報やホームページ、SNSなど、様々なツールを活用し、迅速かつ効果的に周知するとともに、アルコール消毒や微酸性電解水生成装置、抗菌・抗ウイルスコーティング剤等により衛生管理を強化する。
	生活困窮者自立促進支援事業  	35,053	35,053		生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを目指し、岩見沢市生活サポートセンター「りんく」において、他の関係機関と連携した相談・就労支援を実施するほか、一般就労が困難な人に対し、就労意欲や就職活動の知識の向上を目指し、就労準備支援を行う。 また、貧困の連鎖からの脱却を目指し、生活保護受給世帯等の小・中学生を対象に学習支援を行う。 生活困窮者自立支援事業 32,818 千円 生活困窮者学習支援事業 2,235 千円
	生活保護運営事業  	34,510	34,510		生活保護の適正な実施及び運用を行う。 また、診療報酬明細書（レセプト）と健康診査データ等に基づく現状分析により健康課題を把握し、保健師とケースワーカーが連携して個別指導することで、生活習慣病の重症化予防等の健康管理支援を行う。 被保護者健康管理支援事業 3,102 千円

(注) ・ 「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・ 「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容	
			3年度当初	2年度追加補正
環境部	環境対策事業 	12,488	12,488	環境週間などのイベントをはじめ、国民運動COOL CHOICEの普及啓発など、地球温暖化防止に向けた取組み等を通して、市民・事業者の環境保全に対する意識の高揚を図る。 また、太陽光発電の普及に向けた支援等を行うとともに、効率的なエネルギー利用の普及啓発を図る。 太陽光発電システム導入補助金 3,000 千円
	ごみ処理対策事業 	1,378,394	1,378,394	いわみざわ環境クリーンプラザの適正な管理運営と適正排出や分別徹底に向けた取組みを推進する。 いわみざわ環境クリーンプラザの長期包括的管理運営 793,577 千円 不適正排出・不法投棄対策 17,875 千円
	ごみ減量化推進事業 	24,797	24,797	ごみ処理三原則を基本に、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら、ごみの減量化・再資源化に取り組み、循環型社会の形成を推進する。 ごみ減量化・再資源化の推進 13,541 千円 ごみ出しルール of 市民への徹底を図るとともに、生ごみの自家処理の推進、事業系ごみの適正処理など、ごみ減量化・再資源化の啓発 ごみ・リサイクルステーション整備支援 3,512 千円 地域の環境向上や市民の利便性を高めるため、設置・修繕費を助成 集団資源回収奨励金 5,600 千円 町内会・団体等の紙類・アルミ缶・一升びん・ビールびんの集団資源回収に対し、奨励金を交付

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

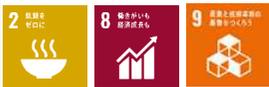
Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部 名	事 業 名	総 額	3年度		事 業 内 容
			当 初	追加補正	
環 境 部	し尿処理事業 	46,526	46,526		下水道との共同汚水処理施設において、し尿及び浄化槽汚泥の衛生的で効率的な処理を行う。
農 政 部	新規就農・農業後継者育成支援事業 	25,728	25,728		新規参入者を中心とした新規就農者を育成・確保するため、国の支援事業などを活用するとともに、市独自の新規就農サポート事業や新規参入支援事業により支援を行う。
	地産地消等所得向上対策事業 	6,219	6,219		札幌圏消費拡大事業においてPR効果の高いイベント等を実施するとともに、地産地消、販路拡大、農産物の付加価値向上へ向けた支援を行い、農業所得の向上に資する取組みを進める。
	産地づくり推進事業 	22,677	22,677		岩見沢産農産物の生産振興及び産地化を図るため、経営所得安定対策の推進や果樹の生産体制強化及び玉葱の生産改善を支援する。
	I C T 農業普及促進事業 	2,500	2,500		「スマート農業」の社会実装による岩見沢農業の持続性を確保するため、「園芸施設のスマート化」に向けた有用性の効果検証及び検証結果の啓発活動等の取組みを支援する。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容		
			3年度当初	2年度追加補正	
農政部	地域産業協働促進事業 	2,500	2,500		企業と連携し新規作物の導入や販路拡大等の取組みを推進することにより、農業所得の向上、地域経済の活性化及び安定した雇用を目指す。
	※ 農業拠点施設管理事業 	14,577	14,577		土づくりの推進を図るため、化学性土壌分析の実施により施肥設計指導や土壌管理の技術指導を行う。また、圃場の地力改善のために新たに物理性土壌診断の実施に向けた分析機器等の整備を行う。 【新規】 物理性土壌診断 5,000 千円
	鳥獣対策事業 	15,935	15,935		関係機関・団体で構成された岩見沢市有害鳥獣対策協議会などと連携を図り、有害鳥獣による農業被害の防止や軽減に向けた対策を推進する。
	多面的機能支払・環境保全向上対策事業 	687,429	687,429		農業者の地域共同による農業資源保全管理活動や環境保全効果の高い営農活動を支援する。
	用排水施設維持管理事業 	780,981	780,981		排水機場及び農業排水路の適正な管理や緊急性の高いコルゲート管の改修整備を進めるとともに、南利根別排水機場の機能向上に向けた改修を行うなど、農地防災・生産基盤の維持に努める。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容		
			3年度当初	2年度追加補正	
経済部	職業能力向上事業  	9,180	9,180		岩見沢市職業訓練センターにおいて中小企業が雇用する労働者の職業訓練を実施するとともに、従業員育成に取り組む事業者を支援するなど、労働者の技能・技術の向上を図り、地域産業の発展に努める。 技能者教育訓練助成金 6,480 千円
	商工金融円滑化事業  	2,123,448	2,123,448		開業、事業の拡大、新分野への進出、中心市街地の活性化、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者への支援などを目的とした融資、利子補給、保証料補給を行い、中小企業の円滑な資金調達を図り、中小企業の事業振興、経営基盤の強化と安定化を促進する。
	創業支援事業  	12,500	12,500		「創業支援事業計画」に基づき、関係団体と連携して、相談窓口、創業塾を開催するとともに、事業拡大や後継者対策に取り組む企業への支援を進めることで、雇用の増加や地域経済の活性化を促進する。
	プレミアム付建設券発行支援事業  	65,000	65,000		経済団体や建設業団体などが主体的に取り組むプレミアム付建設券の発行を支援することで、市内建設業の受注機会確保及び持家に居住する世帯の定住促進を図り、地域経済の好循環を促進する。
	中心市街地活性化対策事業   	35,837	35,837		「まちなか活性化計画」に基づき、中心市街地活性化協議会や商工業者などと連携を図り、官民協働による賑わいの創出、商店街の魅力向上に取り組む。

(注) ・ 「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・ 「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容		
			3年度当初	2年度追加補正	
経済部	ポルタビル利用促進事業 	121,494	121,494		中心市街地の核施設、「であえーる岩見沢」の交流空間などを活用して集客力をさらに高め、滞在時間の延長や集客効果を周辺商店街へ波及させるよう計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化や安全性、利便性の向上を図る。
	観光振興戦略推進事業 	9,235	9,235		「観光振興戦略」に基づいて、岩見沢市観光協会が主体となり、観光拠点施設であるメープルロッジやリニューアルした北村温泉への札幌など近郊からの誘客促進を目的とした独自の着地型旅行商品の充実及びPR強化に取り組む。
	ふるさと毛陽地域振興事業 	49,850	49,850		メープルロッジをはじめとする、ふるさと毛陽の各施設の維持管理及び指定管理者による施設の運営を行うとともに、アクティビティの充実に取り組み、毛陽地域における交流人口及び観光客の増加による地域の振興と活性化を図る。
建設部	除排雪事業 	1,357,346	1,357,346		冬期間における市民の安全・安心な暮らしを確保するため、効率的な除排雪、直轄機動班による臨機応変な拡幅作業、地域自主排雪への支援など本市独自の施策を継続するとともに、ICTを活かした先進的な除排雪作業の取組みを進める。 車道除雪延長 L=967.8km 歩道除雪延長 L=141.9km

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容	
			3年度当初	2年度追加補正
建設部	 道路新設改良事業 1,889,900	1,889,900		快適な住環境づくりの一環として、現況の損傷程度や地域からの要望に基づいた道路の改良舗装や防塵処理、側溝整備を行うほか、橋梁補修工事による長寿命化を進めるとともに、積極的な道路照明灯のLED化に取り組む。 道路改良舗装：20路線 橋梁補修：2橋 道路照明灯LED化、防塵処理、側溝整備ほか
	 駅前通整備促進事業 2,650	2,650		北海道が進めている駅前通の整備が完了するにあたり、街並み景観に配慮した沿道街区整備のさらなる促進を図るとともに、地元組織の活動について支援を強化する。
	  ばらのまちづくり推進事業 11,784	11,784		道内最大規模のバラ園である「いわみざわ公園バラ園」を核としたバラのまちづくりを進める。 市民団体との協働によるバラ街道の管理 バラ愛好家などの活動支援 バラの育成管理に関する知識の普及と人材の育成
	  公園造成事業 82,230	82,230		老朽化した公園施設の計画的な更新を進める。 都市公園長寿命化対策 改築更新（やまびこ公園・かわかぜ公園 ほか）

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容		
			3年度当初	2年度追加補正	
建設部	  利根別原生林保全事業	316,442	296,060	20,382	利根別原生林の保全・活用を進める。 大正池の復旧を進めるための堤体及び周辺施設の整備 ◆2年度追加補正 堤体盛土 20,382 千円
	  街路事業	61,200	61,200		都市計画マスタープランにおいて、都市内ループと位置付けている西20丁目通を、平成30年度に供用を開始したⅠ期工区（12号通～4条通）に続きⅡ期工区（4条通～北3条通）について計画的に整備を進める。
	 市営住宅建設事業	74,907	74,907		老朽化した市営住宅の計画的な建替え及び除却を行い、より良い住環境の維持と適切な戸数管理を進める。 市営住宅建設事業 6条中央団地 実施設計・外構設計・建替工事 54,692 千円 既存団地除却事業 志文団地 2棟8戸 14,830 千円
	 ※ 住宅政策推進事業	4,052	4,052		木造住宅等の耐震化を図るとともに、高い耐震性能と断熱性能を備えた良質な住宅を供給促進することにより、地震や災害に強い街づくりを推進する。 木造住宅の耐震診断、耐震改修及び除却助成 2,360 千円 ブロック塀の耐震診断及び除却・建替え・改修助成 792 千円 【新規】 北方型住宅の建設費補助 900 千円

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容	
			3年度当初	2年度追加補正
教育部	※ ICT教育推進事業  	77,815	77,815	【新規】 児童生徒一人一台端末を活用した授業づくりに向けて、ICT教育に必要となる環境整備、教員個々のICTスキルの向上を推進し、個別最適な学びの充実を図る。 ICT教育環境整備費 (大型ディスプレイ整備) 13,306 千円 (タブレット端末リース費用) 34,748 千円 (ICTを活用した教育活動経費) 9,943 千円 (ネットワーク関連経費) 17,237 千円 オンライン授業環境整備費 2,581 千円
	学び・心はぐくむ学校活動支援事業 	11,224	11,224	「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」を推進するため、学力向上に関する取組みや農業などの体験活動など、各学校が創意工夫のもとで企画立案する活動及び各学校における地域ボランティアと連携した活動を支援する。
	特別支援教育推進事業  	45,527	45,527	心身に障がいを持つ児童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けた、適切な就学支援を行う。
	教育指導振興事業   	5,562	5,562	新しい時代を拓く児童生徒の生きて働く学力の確実な定着及び心豊かで健全な成長を促す教育指導の充実を図り、「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」を推進する。
	コミュニティ・スクール促進事業  	1,190	1,190	地域住民や保護者が子どもの教育に対する課題・目標を共有し、学校運営に参画するコミュニティ・スクールの拡大を推進する。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	事業内容		
			3年度当初	2年度追加補正	
教育部	教育支援センター事業 	19,115	19,115		教育支援コーディネーターを相談窓口とし、関係機関と連携しながら、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育専門員、スクールカウンセラースーパーバイザー、医療アドバイザーによる教育相談や、登校支援指導員による登校支援を行い、児童生徒、保護者、学校等を支援する。
	学力向上対策事業 	3,445	3,445		子どもたちが自らの可能性を開花させ、人間として豊かな成長を遂げ、自己実現を図る確かな学力の定着を目指して、土曜・英検学習会、囲碁授業、土曜キッズ英会話を実施する。
	教育研究所運営事業 	16,429	16,429		岩見沢市における教育上の諸課題を的確に把握し、その進歩改善のための調査・研究等の推進と充実に努め、地域・大学との連携事業の拠点として事業を推進する。 また、タブレット機器を活用した授業づくりの研究を進め、児童生徒の情報活用能力の育成及び教員のICT活用指導力の向上を目指す。
	オリンピック・パラリンピック推進事業 	6,167	6,167		東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、合宿誘致や合宿受入れの取組みを進めるとともに、障がい者スポーツに対する市民の理解と関心を高め、誰もが適性に応じてスポーツを楽しめるまちづくりを進め、地域スポーツの振興を図る。
	健康・スポーツ振興事業 	15,199	15,199		市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実に努めるとともに、各種スポーツ団体の活動をはじめ、全国大会等の出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動を支援する。 また、メープル小学校において放課後の体育館等を活用し、地域スポーツクラブと連携した児童対象のスポーツ教室を行う。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	事業内容	
			3年度当初	2年度追加補正
教育部	※ 社会教育施設整備事業 	4,993	4,993	社会教育施設を計画的に整備するため、施設の利活用を検証し、指定管理者制度による施設の適切な管理運営及び施設の適正配置を検討する。 【新規】 旧美流渡中学校校舎利活用検討委託料 3,000 千円
	※ 東山・岡山地区スポーツ施設運営事業 <施設整備分> 	70,000	70,000	日本陸上競技連盟公認基準改正に伴い、陸上競技場第3種公認（各種競技の記録を認定記録とできる競技場）更新のため改修工事を行う。 【新規】 陸上競技場第3種公認改修工事 58,000 千円
	※ 鉄北地区スポーツ施設運営事業<施設整備分> 	296,000	296,000	老朽化が著しい市野球場のスコアボード等の電気設備を長期的に安心して利用し続けることができるように、維持管理の簡便性を考慮した長寿命化改修工事を行う。 【新規】 市野球場電気設備長寿命化改修工事
	子ども・子育て支援事業 	11,495	11,495	「第2期岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づき、子育て短期支援や産前産後ヘルパー、ファミリー・サポート・センター事業などを実施することにより、子どもが健やかに成長し、安心して子育てができる環境づくりに努めるとともに、子ども・子育て会議を運営し、プランの進行管理を行う。
	子育て総合支援センター事業 	19,409	19,409	「第2期岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づき、子育て総合支援センターを中心に子育てに関する相談・助言等や親子の交流事業を実施するほか、子ども発達支援センター事業を実施し、関係機関と連携を図り、早期発見・早期療育を含めた総合的な子育て支援を行う。

(注)・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

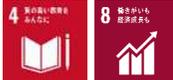
部名	事業名	総額	事業内容		
			3年度当初	2年度追加補正	
教育部	 あそびの広場運営事業	34,204	34,204		<p>であえーる岩見沢内のこども・子育てひろば「えみふる」にある「あそびの広場」を管理運営するとともに、療育型遊具など必要な新規遊具の導入・更新を行う。</p>
	   児童厚生施設運営事業	74,057	74,057		<p>地域における子育て支援拠点として、市内13の児童館等を運営し、児童に健全な遊びを与え、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域団体やサークル等の育成助長を図る。また、早朝の時間帯に、児童の見守りを行い、保護者の就労を支援する。</p>
	 青少年育成事業	4,261	4,261		<p>青少年が自らの意志で自立し、社会参加していくことができるよう、少年の主張大会や子ども会活動を実施するほか、学習や体験活動機会の提供の充実を図るため、団体等に補助を行う。</p>
	   留守家庭児童対策事業	123,534	123,534		<p>児童館をはじめ、小学校や地域施設等21か所で放課後児童クラブを設置運営し、小学校1年生から6年生までの留守家庭児童の健全育成を図る。 また、民営クラブ1か所に補助を行う。</p>
	   保育所入所運営事業	1,507,203	1,507,203		<p>認可保育所の運営費を負担するとともに、延長保育などの特別保育事業を実施する。また、地域型保育事業の実施により、0歳児から2歳児までの受入れ枠を確保する。そのほか、小学校3年生の子から数えて第3子目以降及び同時入所の第2子に係る保育料を無料とするとともに保育料基準額表を減額及び細分化し、保護者負担を軽減する。</p> <p style="text-align: center;">減額となる保育料</p> <p style="text-align: right;">91,014 千円</p>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	事業内容		
			3年度当初	2年度追加補正	
教育部	栗沢認定こども園運営事業 	61,751	61,751		保育と幼児教育を一体的に行う栗沢認定こども園の運営管理を行う。
	病児・病後児保育運営事業 	17,448	17,448		子どもの病気の回復期まで、保護者が仕事等により家庭で保育ができない場合に専用施設で一時的に保育を行う。 病児 岩見沢市立病児保育施設（単独施設） 病後児 岩見沢ひがし認定こども園病後児ルーム（保育所型）
	保育・教育人材確保事業 	3,000	3,000		保育士、幼稚園教諭の確保のため、新規学卒者採用に係る市内法人立保育園等への支援を行う。
	幼稚園入所運営事業 	497,019	497,019		子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園に対する運営費を負担する。また、子ども・子育て支援法の改正により幼稚園に入園する満3歳から5歳までのすべての子どもの保育料を無償とする。
	ブックスタート事業 	1,436	1,436		赤ちゃんと保護者を対象に、一緒に絵本を開く楽しさを伝えるとともにブックスタートパックを贈るほか、絵本の読み聞かせ等、フォローアップ事業の充実を図る。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	事業内容							
			3年度当初	2年度追加補正						
水道部	送水管・配水管整備事業 (水道事業会計) 	731,071	731,071	送水管整備 L= 800m (φ 75mm ~ φ 600mm) 配水管整備 L=4,150m (φ 50mm ~ φ 500mm) 事業統合関連 L= 50m (φ 200mm)						
	下水道築造事業 (下水道事業会計) 	1,241,010	1,241,010	普及促進事業 公共枿設置 36か所 改築事業 南光園処理場 沈砂池設備改築 南光園処理場 水処理施設改築 幌向終末処理場 監視制御設備改築 広域化推進総合事業 南光園処理場 汚泥濃縮設備改築						
市立病院	医療機械器具等整備事業 (病院事業会計) 	158,688	158,688	医療機器の整備を計画的に実施。令和3年度は、外科用移動型デジタルX線透視撮影装置を更新するほか、20品目を整備する。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">総合病院</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">17 品目</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">150,000 千円</td> </tr> <tr> <td>栗沢病院</td> <td style="text-align: right;">3 品目</td> <td style="text-align: right;">8,688 千円</td> </tr> </table>	総合病院	17 品目	150,000 千円	栗沢病院	3 品目	8,688 千円
	総合病院	17 品目	150,000 千円							
栗沢病院	3 品目	8,688 千円								
	新市立総合病院建設事業 (病院事業会計) 	59,000	59,000	総合病院本館の老朽化・狭隘化などの課題を克服し、高度化・多様化する地域の医療ニーズへの対応や療養環境の確保を図るため、新病院の建設に向けて、北海道中央労災病院や岩見沢市医師会など関係機関との協議を踏まえ、基本計画策定の取組みを進める。						

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和3年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	3年度	2年度	事業内容
			当初	追加補正	
市立病院	※ 新型コロナウイルス感染症医療体制確保事業 (病院事業会計) 	85,945	85,945		【新規】 新型コロナウイルス感染症の院内感染防止を図るため、検温スクリーニングや発熱外来の設置、マスク等個人防護具の整備、リモート面会サービスなどの取組みを進める。 また、感染症患者等の対応を行う医療従事者を支援するため、特殊勤務手当の支給と宿泊施設の提供を行う。
消防事務組合	消防車両整備事業  	40,900	40,900		安全・安心な市民生活を確保するため、計画的に消防車両を更新する。 高規格救急自動車(岩見沢署) 1台 40,900千円
	※ 新型コロナウイルス感染症救急体制確保事業  	6,670	6,670		【新規】 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を図るため、マスク等個人防護具の整備を進める。 また、感染症患者等の対応を行う救急隊員を支援するため、特殊勤務手当の支給を行う。

(注)・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「2年度追加補正」は、2年度補正予算で予算計上し、3年度で執行する事業

新型コロナウイルス感染症対策経費

●令和3年度

(単位:千円)

事業名	事業費	事業内容
教育大学連携事業 (地域交流推進補助金)	500	JAIいわみざわと連携し、学生の農業アルバイトへの参加を支援 (負担割合 市:JA=1:1)【参考】R2は市全額負担
新型コロナウイルス感染症予防事業	30,000	公共施設への抗菌・抗ウイルスコーティング、ピュアスター購入費など
共生のまちづくり推進事業 (障がい者就労継続支援事業所設備整備補助金)	5,000	障がい者就労継続支援事業所が、障がい者の就労者数の増加や販路拡大につながる設備投資に係る費用の一部を助成
商工金融円滑化事業 (災害対策資金預託金)	560,000	融資枠14億円(長期8億円、借換5億円、短期1億円) 【参考】R2補正:18.9億円(長期18億円、短期0.9億円)
商工金融円滑化事業 (上記資金の利子補給・保証料補給)	19,230	利子補給18,370千円～全額(3年間) 保証料補給860千円～長期、借換:なし、短期:全額
一般会計小計 ①	614,730	
病院事業会計 ②	85,945	検温スクリーニングや発熱外来の設置、マスク等個人防護具の整備、リモート面会サービスの実施、特殊勤務手当の支給など
消防事務組合 ③	6,670	防護服等の購入、特殊勤務手当の支給など
市合計④ (①+②+③)	707,345	

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国3次補正分) 約5.3億円はR3補正予算で対応

●令和2年度補正(繰越分)

(単位:千円)

事業名	事業費	事業内容
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	448,591	体制確保83,223千円(受診券等作成、コールセンター設置、システム改修等) 接種365,368千円(個別接種業務、集団接種の医療従事者派遣、会場使用料等)
学習環境整備事業 (小学校14校・中学校9校・緑陵高校)	24,000	感染症対策等支援(保健室衛生器具、消毒液や非接触型体温計等の保健衛生用品)教職員の研修等支援(指導図書)子どもたちの学習保障支援(デジタル教科書)

令和3年第1回定例会補正予算の概要 (国の令和2年度補正予算【第3号】等関連)

補正予算のポイント

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保等、国の令和2年度補正予算(第3号)に計上された「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」を実施するために必要な経費に係る事業を令和2年度一般会計補正予算に計上

※令和3年度へ繰越明許

補正予算(投資的経費)の内容 補正予定額 1,166,093 千円

国の令和2年度補正予算【第3号】の繰越分 207,566 千円

【一般会計】

- 中学校校舎等管理事業(屋上防水・外壁改修) 207,566 千円 ~ 光陵中校舎・清園中体育館の改修【当初予算重複計上】

国の令和2年度補正予算【第2号】の繰越分 723,734 千円

【一般会計】

- 高度情報通信基盤整備事業 723,734 千円 ~ 市内未整備地区の光ファイバ整備

国の令和2年度当初予算の繰越分 234,793 千円

【一般会計】

- 利根別原生林保全事業 51,280 千円 ~ 大正池堤体整備工事
- 中学校校舎等管理事業(屋上防水・外壁改修) 183,513 千円 ~ 光陵中体育館・清園中校舎の改修

令和3年度一般会計当初予算の投資的経費92.4億円に補正繰越分(重複計上分を除く)9.6億円を加えた合計 約102億円

